



2021 明海大学
MEIKAI UNIVERSITY

「大学と地域連携の未来」

シンポジウム

コロナ禍における学校教育と地域連携の在り方

2020年度において、明海大学の学生や教職員等が実施した小中高等学校に対する支援に関する実施状況について紹介します。その成果と課題などについて広く地元関係者・関係機関等とともに共通理解を図り、併せて本学の今後の地域支援の在り方を探るシンポジウムを開催致します。

2021年

開催日

2月6日(土) 13:00-16:10

開催形式

Zoomを使用したオンライン開催

定員

200名



基調講演

13:10~14:10

講師

佐藤 明彦氏
教育ジャーナリスト、
(株) コンテキスト代表

演題

「コロナ禍で変わる学校教育のカタチ」
—熊本市「奇跡のオンライン授業」を振り返って—

第1分科会 14:20~16:10

東京都立高等学校連携・ 日本語支援

コロナ禍で都立高校において実施された日本語を母語としない生徒に対する日本語指導支援や高校生と留学生や大学生との交流会等、実際に活動を行った本学学生と高校生が具体的な内容を紹介します。

第2分科会 14:20~16:10

足立区教育連携・ 英語支援

コロナ禍で足立区において実施された小中学校の児童・生徒に対するさまざまな取組や都立高校の校内寺子屋における英語支援について、実際に活動を行った本学学生や教員等がその具体的な内容を紹介します。

第3分科会 14:20~16:10

浦安市・横手市 教育連携

コロナ禍で地元浦安市において実施された小学校の児童や教員に対する英語教育・青少年自立支援未来塾やワーカースコップ学習支援など、実際に活動を行った本学学生がその具体的な内容を紹介します。さらに、県立浦安高校と秋田県横手市との取組も紹介します。

ポスターセッション

明海大学公式ホームページで公開します。

主催：明海大学教職課程センター
地域学校教育センター

後援：東京都教育委員会・浦安市教育委員会・足立区教育委員会
時事通信社出版局・(財)きょういく創造育成財団

目 次

1. 巻頭言	3
2. 本日のプログラム	4
3. 活動報告	
(1)東京都立高等学校連携・日本語支援	
① 日本語指導支援報告(飛鳥高等学校)	8
② 日本語指導支援報告(南葛飾高等学校)	10
③ 明海大学「大学生と話そう会」	12
④ 日本語指導教員研修(飛鳥/田柄/足立区)	14
(2)足立区教育連携・英語支援	
① 明海大学あけみ英語村 2020ー小学生異文化交流プロジェクトー	16
② 足立区中学校異文化交流学習会	18
③ 足立区英語マスター講座修了者成果発表会 スピーチ・プレゼンテーションコンテスト	20
④ 英語支援 東京都立葛西南高等学校「校内寺子屋」支援	22
(3)浦安市・横手市教育連携	
① 浦安市小学校英語支援	24
② 浦安市青少年自立支援「未来塾」	26
③ 浦安市小学校支援 浦安市小学校校内研究支援	28
④ 浦安市学習支援事業「ドラフトゼミ」	30
⑤ 明海大学・朝日大学共催 2020 英語授業改革セミナー「本気で授業改革！」 ..	32
(4)2020 年教職課程センター・地域学校教育センターの歩み	34
(5)ニューズレター 第1号～8号(表面)	36
4. 2020 年度 METTS 事業参加学生一覧	38

巻頭言



明海大学 学長 安井利一

今年度の「大学と地域連携の未来」シンポジウムの開催に当たり、本学と連携協定を締結して様々な事業を実施する上で、ご協力をいただいている地元浦安市をはじめ、足立区、東京都、横手市の教育関係者の他多くの皆さまからのご参加を賜り感謝を申し上げます。

さて、本シンポジウムは、本学に地域学校教育センターを2016年に設置して以来開催させていただいており、今回で5回目を迎えます。第1回は、2017年2月4日に「日本語指導支援等学校支援の在り方」をテーマに開催し194名の参加者があり、第2回は、2018年2月12日に「学校教育の充実のための大学における支援の在り方」をテーマに開催し211名の参加者、第3回は、2019年2月9日に、「変革する日本と学校教育—大学と地域の連携の在り方—」をテーマに開催して239名の参加者を得ました。そして第4回は、2020年2月11日に、「大学の地域連携の現状と課題—これから求められる大学の役割と方向性」をテーマに開催して253名の参加者を得ました。

第1回シンポジウムは、本学のブランディングの一つにもなっている日本語を母語としない子供たちの支援の実態を明らかにするとともに、今後の日本語指導の方向性について議論をしました。第2回シンポジウムからは、引き続き日本語指導支援の分科会を設置するとともに大きな変革が求められる英語教育支援の分科会を設置して議論をしました。第3回シンポジウムでは、これらに加えて浦安市での小学校における授業や校務補助支援に関する分科会を設置し、多角的な視点から大学がいかに地域貢献できるか議論してまいりました。第4回シンポジウムでは、横手市との連携を含み、これまで本学が実施してきた支援についてレビューするとともに小中高の学習指導要領の改訂に基づき学校教育が大きく変化しようとする中で、令和の時代における地域の学校に対する大学の支援の方向性を議論しました。

そして、今回第5回目を迎えたシンポジウムでは、2021年1月の緊急事態宣言の発出を踏まえて、当初予定をしていた対面形式を改め、ZOOM形式によるものとしたしました。今回のシンポジウムでは、「コロナ禍における学校教育と地域連携の在り方」をテーマとして、新型コロナウイルス感染拡大の中にあって大学教育を含め学校教育がどうあらねばならないのか、さらには、大学として地域の学校教育にどのように貢献できるのかなどの方向性を探ることとしたしました。

本日のシンポジウムが、参加された皆さま方にとって日本の教育を考える上で有意義な機会であるとともに、皆さま方からいただいたご意見をもとに本学が更に進化していく契機となることを切に希望して冒頭のあいさつといたします。

2021年2月6日

本日のプログラム

13:00 開会

司会	英米語学科 4年	岩崎 力丸	
学長挨拶	明海大学長		安井 利一
来賓挨拶	足立区長		近藤 やよい氏
	浦安市教育委員会 教育長		鈴木 忠吉 氏

13:10 講演 「コロナ禍で変わる学校教育のカタチ」

ー熊本市「奇跡のオンライン授業」を振り返ってー

教育ジャーナリスト、(株) コンテキスト代表 佐藤 明彦 氏

第1分科会 「東京都立高等学校連携・日本語支援」(2507 教室)

14:20 活動報告

司会 日本語学科 3年 河合 佳也

(1) 日本語指導支援

① 都立飛鳥高校支援

日本語学科 4年

斎藤 菜々花

日本語学科 4年

風間 みなみ

② 都立南葛飾高校支援

日本語学科 4年

藤谷 響

(2) 大学生と話そう会

日本語学科 3年

忍足 裕貴

英米語学科 2年

鈴木 歩

15:10 文部科学省委託

「令和2年度 明海大学との連携による小学校外国語の

専門人材育成・確保事業」ビデオ報告 (休憩も含む)

15:20 パネルディスカッション

「本学が進めてきた高等学校連携の検証と今後の可能性を探る」

パネリスト

教育ジャーナリスト、(株) コンテキスト代表

佐藤 明彦 氏

東京都立田柄高等学校長

栃倉 和則 氏

東京都立飛鳥高等学校長

志波 昌明 氏

東京都立南葛飾高等学校長	佐藤 幸司 氏
足立区教育委員会学力定着推進課指導主事	佐藤 学 氏
外国語学部教授	木山 三佳
大学院応用言語学科研究科博士課程後期2年	林 苗
大学院応用言語学科研究科博士課程後期1年	楊 熙東
コーディネーター	
外国語学部教授	大池 公紀

16:10 閉会

第2分科会 「足立区教育連携・英語支援」(2508教室)

14:20 活動報告

司会 英米語学科4年 寺内 朋之

- (1) 明海大学あけみ英語村2020—小学生異文化交流プロジェクト—
 足立区立湊江小学校長 向山 敦子 氏
 英米語学科4年 中村 陸
- (2) 足立区中学校異文化交流事業
 足立区立扇中学校主幹教諭 小田嶋 悠喜 氏
 経済学科2年 李 俊輝
- (3) 足立区英語マスター講座成果発表会
 高校1年生 國澤 果純さん
 中学3年生 村上 直樹さん
 英米語学科4年 中村 亮介
- (4) 校内寺子屋学習支援(都立葛西南高校)
 英米語学科4年 宮本 隆一

15:10 文部科学省委託

「令和2年度 明海大学との連携による小学校外国語の
 専門人材育成・確保事業」ビデオ報告(休憩も含む)

15:20 パネルディスカッション

「本学が進めてきた足立区教育連携の検証と今後の可能性を探る」

パネリスト

足立区立湊江小学校長	向山 敦子 氏
足立区立扇中学校主幹教諭	小田嶋 悠喜 氏
足立区教育委員会学力定着課推進課統括指導主事	三輪 政継 氏
教職課程センター・地域学校教育センター准教授	金子 義隆

英米語学科 4 年 中村 亮介
コーディネーター
教職課程センター・地域学校教育センター教授 石鍋 浩

16:10 閉会

第 3 分科会 - 「浦安市・横手市教育連携」(2509 教室)

14:20 活動報告

司会 英米語学科 4 年 鶴巻 紗希

- (1) 浦安市小学校英語授業等
英米語学科 4 年 信太 明日華
- (2) 浦安市学習活動支援事業「ドラフトゼミ」
英米語学科 3 年 佐久間 健祐
- (3) 浦安市青少年自立支援「未来塾」
英米語学科 2 年 佐藤 向日葵
- (4) 横手市との包括連携（ビデオ報告）

15:10 文部科学省委託

「令和 2 年度 明海大学との連携による小学校外国語の
専門人材育成・確保事業」ビデオ報告（休憩も含む）

15:20 パネルディスカッション

「本学が進めてきた浦安市・横手市教育連携の検証と今後の可能性を探る」

パネリスト

浦安市立入船小学校長 小林 桂子 氏
浦安市教育委員会生涯学習課主任主事 香川 敦司 氏
浦安市学習支援事業「ドラフトゼミ」主任 齋藤 香代子氏
英米語学科 4 年 内藤 卓
英米語学科 2 年 佐保 翼
英米語学科 2 年 及川 龍之介
コーディネーター
教職課程センター・地域学校教育センター教授 木内 和夫

16:10 閉会

ポスター 資料

日本語教育支援（東京都立飛鳥高校・東京都立南葛飾高校）、大学生と話そう会、日本語指導教員研修（東京都立飛鳥高校・東京都立田柄高校・足立区教育委員会）、足立区小学校英語支援、明海大学あけみ英語村2020（足立区立淵江小学校・足立区立大谷田小学校）、足立区中学校異文化交流学習会（扇中学校）、足立区英語マスター講座成果発表会、校内寺子屋学習支援（東京都立葛西南高校）、浦安市小学校英語支援（浦安市立入船小学校、浦安市立日の出小学校、浦安市立美浜南小学校）、浦安市学習活動支援事業「ドラフトゼミ」、浦安市青少年自立支援「未来塾」、浦安市小学校校内研究支援、千葉県立浦安高等学校連携、明海大学・朝日大学共催2020 英語授業改革セミナー「本気で授業改革!」、ニュースレター（各号）

文部科学省委託事業 特別ビデオ

令和2年度 明海大学との連携による小学校外国語の専門人材育成・確保事業（MEIKAI-JOE）で実施した東京都足立区、千葉県浦安市、秋田県横手市の小学校の先生方に対する講座の概要をお伝えします。

①日本語指導支援報告（飛鳥高等学校）

実施時期：2020年6月29日～

報告：風間 みなみ（外国語学部日本語学科4年）

：齋藤 菜々花（外国語学部日本語学科4年）

1 はじめに

東京都立飛鳥高等学校で日本語が必要な外国にルーツを持つ生徒に対して、外国語学部日本語学科及び応用言語学研究科の学生が日本語指導支援を行った。

2 実施の様子

(1) 実施期間

全日制 15 回 (30 時間)、定時制日本語講座 9 回 (18 時間)、日本語授業 50 回 (100 時間) の各 2 時間、合計 148 時間行った。

(2) 指導クラス

全日制 2 クラス、10 名程度、定時制 3 クラス、15 名程度。指導支援参加大学生、院生数は 11 名である。

(3) 使用教材

通常授業では、月曜日に授業を行った。日本語能力試験や J.TEST のみならず、経済や IT などの専門用語を含む新聞を読むことやレポートの作成、教科書は、前期後期共に、読解や語彙の教科書を用いながら授業を行った。それぞれの主教材は下記のとおりである。

◎使用教科書

全日制(前学期)

上級	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートを書くための日本語文法 ・アカデミックライティングのためのパラフレーズ演習 ・新聞・テレビニュースの日本語
----	--

全日制（後学期）

上級	<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミックライティングのためのパラフレーズ演習 ・新聞・テレビニュースの日本語
----	--

定時制（前学期）

上級	・日本語 N1 文法・読解まるごとマスター
中級	・日本語 N2 文法・読解まるごとマスター ・中学生の日本語～社会生活編～
初級	・日本語 N3 文法・読解まるごとマスター

定時制（後学期）

上級	・日本語 N1 文法・読解まるごとマスター
中級	・日本語 N2 文法・読解まるごとマスター ・みんなの日本語 初級II
初級	・日本語 N3 文法・読解まるごとマスター ・みんなの日本語 初級I

(4) 授業の工夫

授業では、初めに文型の確認を行った。学習者に新出文型を提示し、学習者が認識してから、説明を行った。その際文法プリントなどの副教材を用いた。副教材は、たくさんの例文などを意識しながら作成した。

オンラインでの授業ということもあり、絵教材を用いて語彙や文型の説明を行った。

3 担当教員の感想

東京都立飛鳥高等学校全日制課程

副校長 池田 厚 先生

飛鳥高校全日制課程では、毎年「在京外国人生徒募集枠」で 20 名の外国籍生徒を受け入れています。その中には日本語が殆どできない生徒も含まれており、レベルに応じた複数の日本語指導講座を開設しています。今年度は、生徒を 3 つのレベルに分け、明海大学との連携教育を利用した放課後の講座では、一番レベルの高い生徒 9 名の指導をお願いしております。特に

今回は、コロナ禍の中で心配されましたが、初めてオンラインによる講座を開設していただき、生徒たちも楽しく授業を受け、日本語力の向上に繋がっています。日本語教育は今後益々必要であり、きめ細かい段階を踏んだ日本語講座を設定することは、本校だけでなく各学校でも急務となっています。

主任教諭 阿瀬知 英人 先生

飛鳥高校全日制課程では明海大学の日本語講座を、開講可能な月曜日の放課後に実施しています。本年度はコロナウィルスの関係で、開始が遅れてしまいましたが、6月29日から対面で1学期に4回実施しました。夏休み以後はオンラインに移行して実施をしています。オンラインでは講師の先生1人につきPC1台を用意し、計2台のパソコンにそれぞれ3から5人の生徒が集まり、授業をしています。生徒たちは季節や場面毎に用意される教材に興味深く日本語を学んでいます。

東京都立飛鳥高等学校 定時制課程

副校長 小平 秀朗 先生

日本語支援事業を活用し、明海大学と提携した「日本語講座」を実施して5年目を迎えました。今年度からは、学校設定科目「日本語」を新設して、日本語指導の充実を図っているところです。「日本語講座」では書く・読むこと、「日本語」授業では本校教諭が話すこと、明海大の学生さんが文法確認と役割を分けて、総合的に日本語を学ぶ体制ができました。

今後も日本語指導の充実を図り、希望進路の実現やグローバル化が進む社会の中で活躍できる人間の育成を目指します。

教諭 紺野 敦志 先生

本校の「日本語講座」では明海大学の学生さんによる3展開の習熟度別の学習、「日本語」の授業では本校の教員と明海大学の学生さんによる2展開の習熟度別の授業を実施しています。日本語がほとんど話せない生徒からN2をすでに合格している生徒まで、それぞれの生徒のレベルに対応した授業を展開しています。習熟度展開の授業を行うことで本校の生徒の日本語能力を細かく把握でき、特に初級の生

徒への支援が充実しました。

4 指導支援参加学生の感想

外国語学部日本語学科 4年 風間 みなみ
担当の紺野先生から、事前に「会話の授業ではここが不安だった」と伺った部分に対して、私の文法の授業で時間をかけて変形練などを行うことで、より効率的に文法を定着させることができていると思います。生徒たちが確認問題を解く際にすぐ応用できるようになっていく姿には大きなやりがいを感じました。

1年間継続して1つのクラスを担当するのは初めてでしたが、次第に生徒たちの好みや性格、得意不得意が少しずつ見えてくるようになりました。そこで得たものを授業に反映できるようにするには、たくさん研究が必要だと感じました。

外国語学部日本語学科 3年 永沼 彩乃
教壇実習が終わってからすぐに主担当として授業を行うことになったので、最初はあまりよくわからず、前の担当されていた方の資料を参考にしながら作っていました。しかし回数を重ねていくうちに共有教材を見やすくまとめたり、生徒の様子を見て授業を改善したりと自分なりの工夫を取り入れられるようになってきました。これからも、より良い授業が行えるようにしていきたいと思っています。

5 気づきと今後の課題

対面型の授業ではなかった機器設置に時間を要するため、高校の先生方にご負担をおかけすることがあった。また、月末にかけて通信状況が悪くなり、授業中に通信が切れてしまうことも多々あったことが、悩ましいところだった。加えて、タイムラグがあるため対面授業のようにスムーズに授業を行うことができない点が難しいと感じた。

今後の課題としては、オンライン授業になり教材の作成や教え方に従来の授業とは異なる点があるため、教師自身のスキルを身につけなければならないことと、生徒の学習意欲を下げさせないような副教材を作成することの2点である。

②日本語指導支援報告（南葛飾高等学校）

実施期間：2020年6月19日～

報告：藤谷 響（外国語学部日本語学科4年）

1 はじめに

東京都立南葛飾高等学校で外国にルーツを持つ日本語指導が必要な生徒に対して、外国語学部日本語学科及び応用言語学研究科の学生が日本語支援を行った。

今年度は、コロナウィルスの感染状況を鑑み、遠隔での日本語指導支援を実施することとなったが、遠隔（リアルタイムオンライン）授業の実施にあたり、高校の先生方に機器の設置、教材の印刷・配布、授業実施中の不測の事態へのご対応など、これまで以上に多大なご尽力を賜っている。

2 実施の様子

(1) 実施期間

6月19日～2月16日 全36回

(各2時間、合計72時間)

通常授業期間の火曜日と金曜日に授業を行った。

(2) 指導クラス

- ・前学期：初中級7名 中上級6名 計13名
- ・後学期：初中級5名 中上級3名 計8名

(3) 指導形態

- ・前学期 対面指導
- ・後学期 遠隔（Zoom を利用したリアルタイムオンライン授業）

(4) 使用教材・機器

① 前学期

対面指導で、話す力を養成する教材を扱った。

- ・初中級クラス 「聞く・考える・話す留学生のための初級日本語会話」
- ・中上級クラス 「なめらか日本語会話」

② 後学期

使用機器は当初、学生1~2名で1台のPCをモバイルWi-FiでZoomに接続した。しかし複数台のPCを接続する場合、音のハウリング、準備時間、PCの不具合のリスクなどの問題が多く、クラスで1台のPCとプロジェクターを使用する方法になった。

教材は、各レベル対応の文型のオリジナル教材を作成した。

(5) 授業の工夫

・通信データ容量の制限があるため、授業においても通信容量を抑えることを心がけ、画像オフで授業を行い、画面共有する教材以外に手元に配布する教材を作成し、高校において配布していただいた。

・通信容量を抑えるために画像を切ったり、通信状況が不安定であったりして、双方向のやり取りが難しく、生徒の様子がよく見えなかったため、全員が参加できているか確認するために、発言や読ませる機会を増やした。

・対面に比べて遠隔授業では、視覚的教材を提供しやすいので、共有教材で例文を現実的な使用場面と絵を一緒に数多く提示することを心掛けた。

・配布教材は、大事なところを生徒自身で記入するように空欄にした。

(6) 担当教員の感想

東京都立南葛飾高等学校

校長 佐藤 幸司 先生

本校が在京外国人枠入学選抜制度を導入して5年目となりますが、初年度の1月に明海大学との教育連携に関する協定を締結し、現在に至るまで日本語指導を中心に様々な支援をいただいています。コロナ禍の今年度は、学校再開直後の分散登校の期間

から指導に来ていただき、生徒同士のコミュニケーションが取れていない時期からその関係作りも含めて授業を展開していただきました。生徒が学校生活に適應する助けとなり、大変ありがたく思っております。引き続きご支援をお願い申し上げます。

在京外国人生徒担当教諭 楠 瑠奈 先生
本校の第1学年の在京外国人生徒を対象に、週2回、日本語能力試験を見据えた日本語講座を実施し、2グループに分かれ、生徒の日本語レベルに応じて指導していただいています。9月以降はオンラインで指導していただきました。

1学期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校が終わり、まだ短時間、分散登校をしている時期から指導していただき、生徒の日本語能力の向上はもとより、例年以上に難しかった学校生活への適應にも貢献していただきました。生徒にとって親しみやすい「お兄さん」「お姉さん」たちに教えていただけることで、日本語を楽しく意欲的に学びました。9月以降のオンライン指導にはまだまだ課題が多くありますが、これからの日本語指導のさらなる可能性を感じました。

(7) 参加生徒の感想

白 紫萱 さん

N2の文法と新しい単語を教えてくださいました。最近の新聞も教えてくださいました。大学生の先生はいつもやさしいです。もし私がわからないことがあるときは、先生はかんたんな言葉で話してくれます。私はそのことにとても感謝しています。そのため、私の日本語はどんどんうまくなりました。

李 楊 さん

7限の大学生の先生の授業は面白かった。いろいろな日本語を勉強しました。オンラインでの授業はいいですけど、先生が来るほうがいいと思います。なぜなら、もっと集中して勉強できるからです。

(8) 指導支援参加学生の感想

外国語学部日本語学科4年 藤谷 響
オンライン授業ということもあり、どのように授

業を進行させるかどうか、パワーポイントはどのように作成するかとても悩みました。生徒の反応も画面越しでしか見ることができないので、理解しているかどうか確認するのが難しかったです。ですが高校生たちが画面に向かって大きくなるまでいてくれたり、マイクに向かって問題の答えやわからない箇所を質問してくれたりしたので、私自身とても高校生たちに助けられました。

(9) 今後の課題

次年度はどのようなになるのか、現時点では不明であるが、遠隔（リアルタイムオンライン）授業の日本語指導支援を実施する場合、PC、マイク等の機器や通信機器を整え、対面に近いインターアクションを行えるようにできるとよいと思う。

また、指導内容の面では、産出面の強化を図ること、授業後、生徒が学習したことを復習できるようにするための配布資料を作成することなどが今後の課題としてあげられる。

③明海大学「大学生と話そう会」

実施日時：2020年9月27日

報告：坂本 純一（教職課程センター・地域学校教育センター教授）

木内 和夫（教職課程センター・地域学校教育センター教授）

1 実施の概要

9月27日に都立飛鳥高校、竹台高校、南葛飾高校、葛西南高校、県立浦安高校に通う生徒67人（日本人生徒29人、在京外国人生徒38人）及び引率の先生方10人の計77人が本学を訪れ、「大学生と話そう会2020」を開催しました。20人の日本人学生、13人の留学生がボランティアとして協力してくれました。このイベントの目的は、高校生が明海大学の学生と交流することにより、大学で学ぶことの魅力、大学生活の魅力、明海大学の魅力などについて理解を深めていただくことです。

昨年度までは明海大学の教員が主導する形の話そう会でしたが、今年度は学生がオープンキャンパスを小グループごとに案内をするなど、学生主導の形になったことが特筆すべき点と思われます。

以下、参加した高校生、大学生、引率の先生方の感想を紹介いたします。



2 参加した高校生の感想

先日行われた「大学生と話そう会」では、実際に学生の方々と話す機会が設けられていて、志望校の決め手となりました。学生の皆さんは丁寧で、通っていて楽しそうな大学だなというのが伝わりました。また、楽しみながら様々なブースをまわることができ、中でも自分が行きたかった経済学部のブースでは、とても有意義な時間を過ごすこと

ができました。進路を決める上でとても貴重な会になりました。（都立竹台高等学校3年 阿部 優貴）

「大学生と話そう会」に参加して、明海大学についてたくさんの事を知ることができたと思います。

大学生の方々と一緒に昼食を食べながら、明海大学が他の大学と違うところなど、大学の特徴について細かく教えてもらうことができました。そして、キャンパスツアーでは、大学の施設の充実ぶりや学部・学科について説明を受け、多くのことがわかったのでとても貴重な体験になりました。

（県立浦安高等学校3年 駒井 凜太郎）



3 参加した学生の感想

初めはそんなに乗り気ではなかったが、どうしても人がいないからという理由で参加した。

学内の案内をするだけかと思っていたが、多国籍の生徒と話しをする機会があった。英語もフィリピン語も中国語も話せるわけがないのでコミュニケーションをとるのにとっても苦労した。なんとなくの雰囲気と身振り手振りであまりコミュニケーションが取れて、聞きたいことに答えられたと思うので良かった。

反省点としては、学部・学科見学の時は自分の学科ですら説明をするのが難しかったので、そこは勉強不足だと痛感した。せめて、どのような学部があるのかだけでも下調べしておくべきだなと感じた。

（日本語学科3年 河合 佳也）

大学生と話そう会では高校生とお話をしたり、ご飯を食べることがメインのイベントでした。今年はコロナの関係上制限されるところもありましたが、高校生と楽しい時間を過ごすことができました。残念ながら私の学科である英米語学科に興味がある生徒は私たちのグループにはいませんでしたが、普段の学校生活について、受験に対する不安や受験勉強について沢山お話しすることができました。自分も高校生の時こんなことを思っていたな、などと初心の気持ちを思い出すこともできました勉強を頑張りたいと思うこともできました。今年の受験ではいろいろと変わっており、コロナも重なって気持ちの面でも大変だと思いますが受験生には頑張してほしいと思いました。

(英米語学科2年 鈴木 歩)

「大学生と話そう会」のお話を頂いたときに私はコロナ禍で将来を不安視している高校生たちの手助けができたという一心で参加させていただきました。しかし、改めて学校について紹介するとなるとあまり詳しく知らないことに気づき明海大学について改めて調べ直したりもしました。当日はオープンキャンパスの時に知っていた子の担当であったため普段の学校生活の事やコロナ禍での変化について詳しく教えました。その結果高校生もとても満足したような笑顔を見せてくれたことに満足感でいっぱいになりました。新入生、後輩として入学してくるのが楽しみであり、今度は先輩として何かしてあげられたらと思います。

(経済学部3年 中里 圭)

4 引率された先生方の感想

進路選択においては、在学校の教員による指導だけではなく、生徒が様々な立場・年齢・経歴の方々から、直接刺激を受け、視野を拡げる経験をすることは大変重要です。特に実体験を伴う教育活動が難しいコロナ禍にあって、結果として貴学に進学することになった生徒にとってだけでなく、本校のキャリア教育の一環として、「大学生と話そう会」参加は、百聞は一見に如かず、を体

験する時間となりました。

(都立竹台高等学校 副校長 池田 美穂)

本年度は7名の3年生が参加させていただきました。はじめは緊張している様子でしたが、学生の皆さんの朗らかで温かい雰囲気により、すぐに打ち解け、会話が弾んでおりました。施設見学や交流会を通し、学生さんの高校時代やキャンパスライフのお話を熱心に聞き、より一層大学生活への期待が膨らんだことと思います。参加した生徒たちから「大学生と話をすることでこれからのイメージができた」という感想の声をもらいました。生徒たちにとって貴重な経験となりました。ありがとうございました。

(県立浦安高等学校 英語科教諭 生芝 美耶)



5 成果と課題

今年度はコロナ禍の影響で、昨年は2回実施できた「大学生と話そう会」が1回の実施となってしまいました。成果としては高校側にとっては明海大学を知る良い機会となり、明海大学への進学につながっている事業になってきていると思います。参加した大学生にとっても高校生と接する機会はあまりなく、将来教職を希望する学生にとっては、貴重な経験となったと思います。課題はやはりコロナ禍の影響で、留学生の参加が少なかったことがあげられます。コロナ禍はしばらく続くことが予想されるので、そうしか課題を継続的に考えていく必要があると思われれます。

④日本語指導教員研修（飛鳥 / 田柄 / 足立区）

実施時期：2020年12月4日、22日、23日

報告：木山 三佳（外国語学部日本語学科 教授）・田川 麻央（外国語学部日本語学科 講師）

1 研修内容

（1）「外国人生徒のための語彙学習支援」

実施校・・・東京都立飛鳥高等学校（2020/12/4）

参加者・・・28名 担当：田川 麻央

高校生活では、日本語が発達途中でであっても日本語で書かれたものを読まなければならない場面が数多くある。読むために知っておかなければならない語彙が膨大にあるが、どのように語彙を増やせばよいのだろうか。また、文章の中で未知語に出会ったとき、どのように対処すればよいだろうか。この2点について整理した。

語彙は理解語彙と産出語彙に分けて捉えられる。理解語彙とは聞か読みかできればいいというもので、産出語彙とは話したり書いたりできたほうがよいものである。科目や生徒のレベルによっても理解語彙、産出語彙は変わってくるが、この視点で各科目の語彙を整理することで、生徒の語彙習得の負担を軽減し、学習の効率化につながる。語彙を増やす学習方法は、意図的学習と偶発的学習に大別できる。意図的語彙学習とは、学習者にとって必要な語を意識的に覚えるというもので、例えばリストを作るなどがそれにあたる。偶発的語彙学習は教科書などで偶然出会った語を自然と覚えていくという方法で、多読などがある。これらを組み合わせ、繰り返し語に触れる機会を作ることが語彙習得には不可欠である。また、日本語の文章を読んでいると必ずと言っていいほど未知語に出会う。未知語の対処としては、文章中にある明示的な手がかりを見逃さないようにすること、何となく未知語の意味がわかってもすぐに決定せず、読み進める中で慎重に意味を当てはめて確認したり修正したりすること、文脈の中で語の重要性を判断し、未知語の意味を追求することをやめることもときには必要であるというようなストラテジーが挙げられる。未知語の対処ストラテジーを

臨機応変に使いこなせるよう、訓練の機会を用意することが望まれる。

（2）「日本語指導が必要な生徒の課題とその背景」

実施校・・・足立区日本語指導研修会（2020/12/22）

参加者・・・10名 担当：木山 三佳

日本語指導が必要な生徒の課題とその背景について、言語、認知、社会の各側面から先行研究からわかっていることを開設し、さらに必要な支援について整理した。

第二言語習得は音、文字、意味が正しく対応付けられるためには能動的な仮説検証が必要であり、音韻知識や漢字など正しい規則を習得させるように支援することを意識するとよい。

また、第二言語を習得している間に母語を発達させ続けることが認知的発達には重要であり、授業においても既有知識と新しい知識が関連付けられるように支援を行うことが望まれる。

さらに、日本語モノリンガル生徒との協働的な活動を取り入れたり、外国人等生徒の母語を教室に取り入れることで学校生活を円滑に進められるように仕向けることも必要である。最後に、指導において使える Web 上の資料を紹介した。

（3）「中上級の指導」

実施校・・・東京都立田柄高等学校（2020/12/23）

参加者・・・20名 担当：木山 三佳

中上級レベルの学習者に対しては、専門的な状況や抽象的な内容を扱う課題に対応できる日本語力を養成する。そのために言語的にも認知的にも高度な処理が必要となる。中上級レベルに達した外国人等生徒を、高校の教科学習の深い理解に導くためには、トップダウン処理を促し既有知識と十分に関連づけること、学習文脈に埋め込んだ形で日本語を学ぶこと、が重要である。授業での実践方法として、1）「学ぶ」のではなく「使う」つもりで読ませる、2）

前もって全体像を与える、3) メッセージの多様性を利用する、という提案を具体例を挙げながら説明した。

2 ご感想

都立飛鳥高等学校 全日制副校長 池田 厚
今回、講義いただいた内容は、日本語指導を行うために欠かせない「語彙を増やす」ことに関するものでした。言語を理解するメカニズムや理解をする上での問題点、具体的な語彙の増やし方など、今後、それぞれの教科指導を行っていく上で利用できるベーシックな内容が中心でした。全日制および定時制の教員合わせて約 30 名が参加し、昨年同様の内容の濃い充実した研修会となりました。

都立飛鳥高等学校 主任教諭 阿瀬知 英人
日本語指導が必要な生徒が年々増えていますが、正直、どのように支援したらよいか深く考える事はありませんでした。

今回の研修を受け、外国人生徒が日本語を理解する上で、何につまずいているのかを考えることが大切だと思いました。また、理解語彙と産出語彙のどちらなのかを伝えてあげることも重要だと知りました。

今後は、漢字や熟語で覚えようとしている生徒には、短文や語彙で覚えるように指導していきたいです。

都立飛鳥高校 定時制課程 主任教諭 島村 学
飛鳥高校は約 7 割の生徒が外国ルーツです。日本語が苦手な外国ルーツの生徒に対して、どうすれば上手くコミュニケーションを取ることができるのか試行錯誤しています。今年度は外国語学部日本語学科の田川先生より「外国人生徒のための語彙学習支援」というタイトルで御講義いただきました。理解語彙と産出語彙については、今後生徒を支援する上で大変参考になります。このような貴重な研修の機会を与您いただけることに、感謝しております。

足立区日本語指導研修会アンケートより

課題の中に自分のクラスの児童が直面している課

題が多くあり、この課題をどのように解決したらよいか毎日悩んでいました。その中で自分がやってあげられていたことやできていないことが明確になりました。また、母語の重要性についても改めて感じました。私のクラスの児童は母国語、英語、日本語を話しています。しかし、母国語以外はあまりしゃべれません。しかし、家族とのコミュニケーションも考えると母国語も大切にしてほしいと思いました。今後は、今日学んだことを生かしながら児童の経験や気づきをいかして指導していきたい。また、発音ができているところもあるので、リズムディクテーションを取り入れて少しでも課題を解決してあげたいと思います。

都立田柄高等学校 副校長 奥脇 次郎
本校担当教員からの希望により、「中上級の指導」という題材でいただいたことを感謝申し上げます。

私個人としては、ゆっくり丁寧に教えることのみを考えていましたが、「様々な日本語能力レベルの中で、中上級の生徒にも適した教え方がある」ことを教えていただきました。

これぐらいは知っているだろうとか、背景的知識に関する配慮が足りないと、生徒の躓きを招いてしまうということも、本校での指導の参考になりました。

都立田柄高等学校 教諭 毛塚 篤志
まずは、年末のお忙しい中、またコロナ禍での講演をしていただいたことに心から感謝申し上げます。

参加した職員の一人は、文章理解の深さには三つのレベルがある、という話が大変参考になった、と申しておりました。私自身も、勉強になることばかりでした。学んだことを指導に活かし、生徒の躓きを減らせるように努めなければ、と改めて感じた次第です。今後とも何卒よろしく願いいたします。

①明海大学あけみ英語村 2020

—小学生異文化交流プロジェクト—

第1回 日 時：2020年10月29日（木）13時～16時

参加者：足立区立湊江小学校 6年生79名、本学留学生6名、本学教職課程履修生名33名、教職課程センター及び多言語コミュニケーションセンター、足立区教育委員会

第2回 日 時：2020年11月24日（火）13時～16時

参加者：足立区立大谷田小学校 6年生43名、本学留学生6名、本学教職課程履修生36名、教職課程センター及び多言語コミュニケーションセンター、足立区教育委員会

報 告：金子 義隆（教職課程センター・地域学校教育センター 准教授）

1 はじめに

世界のさまざまな国・地域から来ている本学の留学生及び教職課程を履修している学生と足立区の小学生が英語を使って異文化交流する「明海大学あけみ英語村」は、今年度で4年目の取組みとなった。今年度は、コロナ禍において参加学生と児童のマスクの着用や手指消毒の徹底、そして体温チェックにより少しでも微熱があったり体調不良の者は参加を遠慮してもらい、感染症対策を徹底させて昨年度同様に2回実施した。

2 プログラム

- (1) 小学生出迎え
- (2) 開村式
 - (ア) 学長あいさつ
 - (イ) 学友会代表あいさつ
 - (ウ) 小学生代表あいさつ
- (3) パトリツィア先生とタイソン先生によるコミュニケーション・アクティビティ
- (4) イングリッシュ・キャンパス・ツアー
- (5) 閉村式
 - (ア) 交流記念品の贈呈
 - (イ) 副学長あいさつ
 - (ウ) 足立区代表あいさつ
 - (エ) 小学校校長挨拶
 - (オ) 小学生の歌

3 主なアクティビティの特徴

- (1) コミュニケーション・アクティビティ

パトリツィア先生とタイソン先生がパワーポイントを使って、ビートに合わせてリズムカルにターゲットの語彙（ON・IN・UNDER・BEHIND など）を小学生に紹介した。その後、小学生は大学生の援助を受けながらクイズに挑戦した。最後に、大学生が待つコーナーに行き、小学生は英語を使ってコミュニケーション活動をして、ご褒美にシールをもらった。

(2) イングリッシュ・キャンパス・ツアー

小学生は6人程度のグループになって、大学生や留学生の案内でキャンパス・ツアーをおこなった。ツアー中は全て英語でおこなわれ、学生や留学生は英語で図書館のラーニング・コモンズやイングリッシュ・ゾーンなどを説明し、小学生とコミュニケーションを楽しんだ。

4 参加校校長の感想

「秋晴れの下、素晴らしい校舎と貴校の教職員の皆様と学生の皆様に歓待していただき、6年生の児童はもちろん、私たち教員もわくわく感でいっぱいの中、交流が始まりました。この交流体験を通して子供たちは、英語を通してコミュニケーションする喜びを体感することができました。学生の皆さんの流暢な英語に私たち教員も感心させられました。また、6年生の子供たちも臆することなく、英語でのコミュニケーションに積極的に取り組むことができ、たくましさを感じるとともに、学校で学習してきたことを生かすことができたのではないかと感謝いたしております。また、子供たちは大学生になるとあのように素晴らしい校舎で学べることや、学生の皆さんとの話の中で希望を

抱き、「大学」への憧れを強くもちました。
 コロナ禍の中、この日を迎えるまでに数多くのご準備をいただいたことと思います。このような機会をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

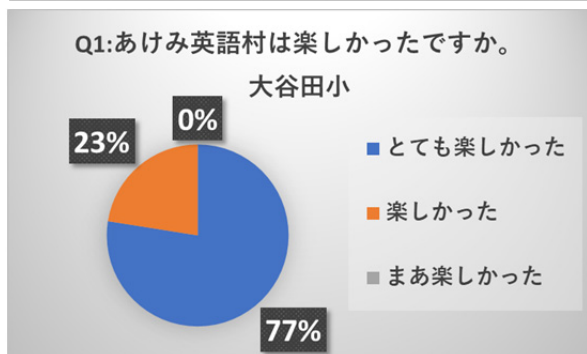
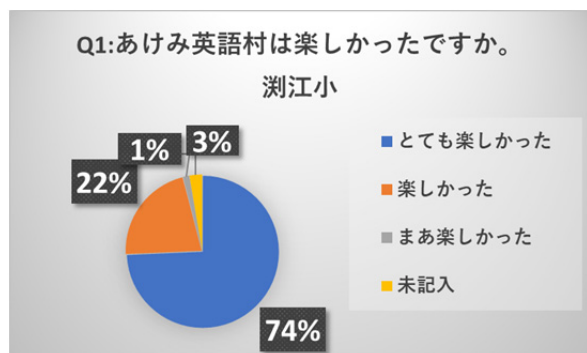
(足立区立淵江小学校 校長 向山 敦子 先生)

「明海大学あけみ村」の先生方、留学生・学生の皆様との出会いは、子供にとって、自分を高めるかけがえのない機会となりました。子供たちは、おもてなしマインドにあふれ、明るくポジティブで力強い大学生との交流を通して、コミュニケーションの基本を体得するとともに、「英語が使える人生って、なんかよくない?」という感触を得たようです。好印象は、やる気の種です。だからこそ、「英語が分かる」「英語が通じる」楽しさを味わい、自分の未来の姿に取り込むことができたようです。子供たちには、あけみ村での体験をきっかけにして、英語に挑戦し、どんどん使って、どんどん間違っ、どんどんうまくなってほしいと思います。明海大学の皆様のご活躍をお祈りしております。本当にありがとうございました。

(足立区立大谷田小学校 校長 相澤 貞恵 先生)

5 小学生アンケート結果及び分析 (一部抜粋)

(アンケートに回答してくれた淵江小 74 名と大谷田小 40 名、2 校合計 114 名)



上記の表から、「とても楽しかった」と「楽しかった」を合わせると淵江小が96%、大谷田小は100%という結果であった。ほとんど全員の小学生が「あけみ英語村」を楽しんでくれたことが分かった。

また、「Q4:体験を通じて感じたことは何か」という質問に対して、最も多かった回答は「英語で交流することは楽しい」で淵江小 82.4%と大谷田小 85%であった。そして、次に多かった回答は両校ともに「英語をもっと勉強したい」で、淵江小 64.9%で大谷田小 82.5%であった。この結果から、両校の小学生はこの事業を通して、英語でコミュニケーションする楽しさを体験し、それだけでなく英語学習への動機づけを高める結果につながったようである。



一つ特筆すべき点は、この事業を通して、多くの小学生は大学への憧れを強くしたようである(淵江小 59.5%、大谷田小 70%)。小学生にとって、大学はまだ遠い将来のことかもしれないが、この「明海大学あけみ英語村」を通して大学生や留学生と交流し、大学キャンパスで講義を受け、見学することで大学をより身近に感じ、より深く知るきっかけとなったようである。

②足立区中学校異文化交流学習会

今年度参加校：足立区立扇中学校

実施日：2020年10月2日

報告：金子 義隆（教職課程センター・地域学校教育センター 准教授）

1 はじめに

足立区と連携協定を締結した2016年度より、足立区教育委員会と連携して小中学校に対して本学の研究・教育資源を生かした英語教育支援をおこなっている。その一環として、世界のさまざまな国・地域から来ている本学留学生と足立区の小中学生が英語を使った異文化交流学習会をおこなっている。

今年度は、コロナ禍のため年度当初の予定より少なくなりましたが、2回の異文化交流学習会を2校の足立区立中学校で実施した。参加する留学生のマスク着用や手指のこまめな消毒、1週間前からの毎日の体温チェックなどの感染症対策を徹底して交流学習会を実施した。以下に、足立区立扇中学校でおこなった交流学習会について簡潔に記した。



2 足立区立扇中学校での取組み

- ① 参加者：本学の留学生11名と中学1年生70人、2年生56人、3年生58人
- ② 参加留学生出身国：スリランカ、中国、ベトナム、モンゴル（計4カ国）
- ③ 概要：留学生11人は、2時間目から6時間目の英語の授業に参加した。毎時間留学生が中学生4、5人のグループに1人ずつ入り、写真などを使って自分自身や自国の文化を紹介した。例えば、中国の月見のお祭りやベトナムの伝統

衣装のアオザイ、モンゴルのチンギス・ハーンの巨大なモニュメントなどを紹介した。中学生も自分たちで予め調べておいた日本の歴史上の人物を英語で紹介したり、用意しておいた絵を英語で描写して留学生はその絵を見ずにオリジナルの絵とできるだけ同じになるように絵を書く活動などをおこなった。中学生も留学生も英語を使ってのコミュニケーションを楽しんだ。



- ④ 参加中学生の感想：「留学生と話して、共感できるところをたくさん見つけた。他国のことをたくさん知ることができた。」や「英語でコミュニケーションをとる楽しさを知った。とても楽しかった。」などと答えてくれました。
- ⑤ 参加校の感想：

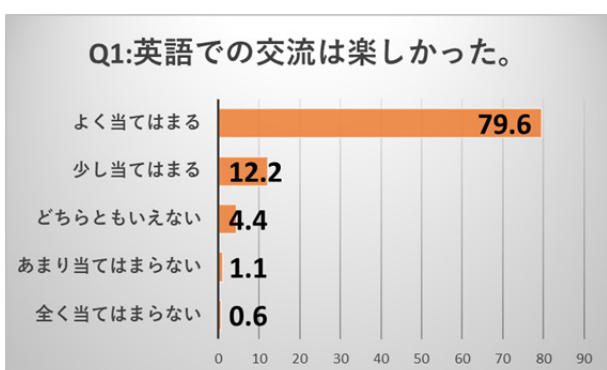
「本学園では、国際コミュニケーション科の時間を設定し、英語活動や国際理解の取り組みに力を入れています。今回、本学園の生徒が御校の留学生と英語で交流できたことは、英語のスピーキング力やリスニング力の向上だけではなく、コミュニケーション能力の向上や異文化理解にもつながりました。留学生と即興で英会話することは、生徒にとって大変難しいことであったようですが、クラスメートと協力し

ながら、どのようにすれば相手に伝わるのか、熱心に取り組んでいました。また、留学生の皆さんも民族衣装や民族楽器を披露しながら、生徒の興味が深まるように授業を進めてくれました。今回の貴重な経験を生かしながら、今後も英語活動・国際理解の取り組みを進めていきたいと思ひます。」

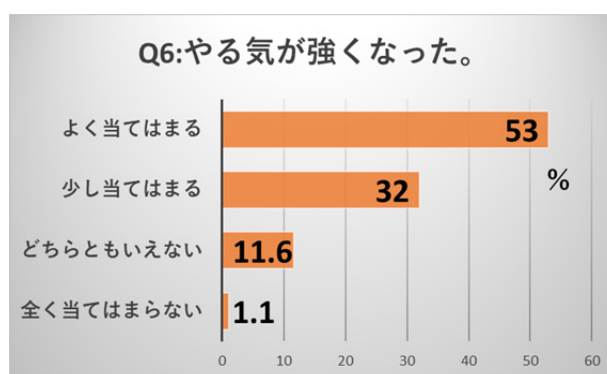


3 中学生アンケート及び分析（一部掲載）

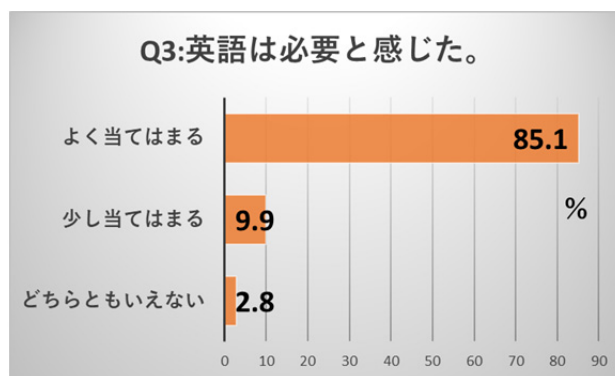
中学生に事後アンケート（694人回答）で9つの質問をした。その結果、「英語での交流は楽しかった。」という項目に対して、「よく当てはまる」（79.6%）と「少し当てはまる」（12.2%）を合わせて91.8%が肯定的回答をしている。ほとんどの中学生が英語を使って留学生とコミュニケーションすることを楽しんだことが分かる。



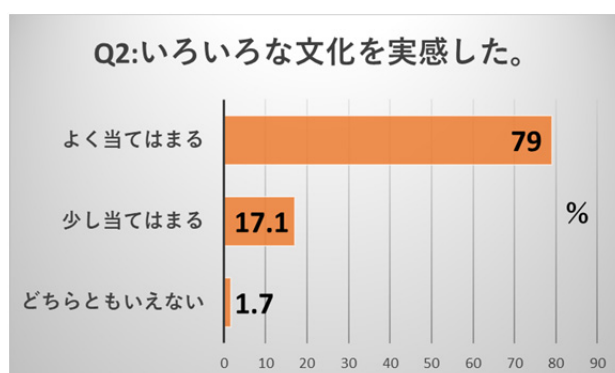
これは英語学習にとって大きなプラスだと言える。つまり、この体験が英語学習への動機づけにつながる可能性があるからである。実際、この後の「英語学習へのやる気が強くなった」の項目に対して85%が肯定的に回答した。これは、この事業の大きな成果の一つだと言える。今回の体験が生徒にとって日々の学習に還元できるものとなっていることを意味している。



また、以下の通り生徒たちのほとんど全て（95%）が「英語は必要と」感じたようである。やはり、必要性を感じないと人はやる気も起きてこないものである。しかし、自分にとって必要だと感じられれば、これは大きな動機づけになる。



異文化に対する理解は学習指導要領に書かれてあるように「外国語教育」の中でも大切な要素である。



この異文化交流学習会を通して、中学生は4カ国の異文化を体験した。「英語圏文化」だけでなく、アジア圏の文化を体験することができた。生徒たちには異文化との出会いはとても新鮮で異なる価値観を知るきっかけになったようである。

アンケート調査のより詳しい結果はポスターにて発表するので、そちらを参照されたい。

③足立区英語マスター講座修了者成果発表会 スピーチ・プレゼンテーションコンテスト

日時及び参加者：2020年11月1日

場所：本学浦安キャンパス 発表会 2201講義室 特別講義 2203講義室

報告：百瀬 美帆（教職課程センター・地域学校教育センター教授）

1 はじめに

明海大学・足立区連携事業における「英語マスター講座修了者によるスピーチ・プレゼンテーションコンテスト」は足立区英語マスター講座を修了した者がその成果を発表とする場として2019年より開催されており、今年度は足立区の中高生7人が参加した。

2 実施概要

今回は新型コロナウイルス感染対策を講じての実施となった。本学英米語学科教職課程4年生が英語で司会進行を担当し、開会式に続いて足立区から7人が発表した。続いて本学英米語学科教職課程2年生2名もスピーチを発表した。発表者とタイトルは表の通り。

審査員である本学複文化言語センターのパトリツィア・ハヤシ教授、タイソン・ロード准教授が発表後に内容に関して質疑応答を行ったほか、発表内容に応じた賞を決定し、高野敬三副学長が賞状と明海大学からの記念品を授与した。

午後には審査員2名がコンテスト参加者に対して、「理想の発明品」を題材とし、「論理的な理由と共に意見を述べること」に関する特別講義を行った。

参加者数は60人で、内訳は中高生の保護者及び足立区教育委員会職員他40人、本学学生20人であった。

	Name・School	Title
1	Higurashi Iroha 2nd Grade / Adachi 10th JHS	Why I Like Hula Dance
2	Kawachi Ichiro 2nd Grade / Adachi 4th JHS	Why I Study English

3	Murakami Naoki 3rd Grade / Adachi Senjusakurazutsumi JHS	My Study Method
4	Nishiyama Akiko 2nd Grade / Adachi 4th JHS	What I Learn through Studying English
5	Hirabayashi Mizuki 1st Grade / Waseda Jitsugyo SHS	English Education around the World
6	Ikemoto Kano 1st Grade / Koyamadai SHS	Personality
7	Kunisawa Kasumi 1st Grade / Hibiya SHS	Cacao
8	Sato Himawari 2nd year / Meikai University	Worries are Wonderful!
9	Takahashi Rin 2nd year / Meikai University	Life Plan

3 足立区教育委員会担当者の感想

今年度で2回目となる足立区英語マスター講座成果発表会では中学生4名、高校生3名が参加をしました。スピーチやプレゼンテーションを通して、日頃の英語学習の成果と講座修了後の成長を相互に共有することができました。今回は2名の大学生によるスピーチもあり、参加者にとっては模範となり、更なる学習意欲を喚起する機会となりました。午後にはネイティブの教授、准教授による英会話講座に参加をして、「発明」を題材に自分の考えを英語で伝え合うことができました。

（足立区教育委員会 学力定着推進課
指導主事 山口哲治）

4 発表者の感想

(1) マスター講座修了者

僕は令和元年度の英語マスター講座を受けて、オンラインで外国人と緊張せずに話すということを手につけました。初めはものすごく緊張しましたが、回数を重ねていくにつれて緊張がなくなってきました。



明海大学でのスピーチでは、緊張で読むスピードが速くなってしまったり下を向いてしまうことが多かったです。

強調する部分などの工夫ができていなかったと思いました。この経験を活かしたこういう機会があれば、読むスピードをゆっくりにしたり個々の単語を丁寧に言っていきたいです。

(足立区立第四中学校2年 川内 一郎)

私はこのスピーチを通して自分に自信を持つことができました。母国語ではない言語で自分を表現



することは難しかったです。近年英語が重要視されているので、このようなスキルは今後自分の力となると思います。しかし、ただ英語を話すだけでは何も生み出せません。英語に限らず、様々な分野に取り組み、さらに、その経験を基に自分のアイデアを創造し、それがいつか、誰かの役に立つようにしたいです。

(都立日比谷高校1年 國澤 果純)

私は英語マスター講座で「人前で臆することなく発言する力」を手につけました。英語マスター講座では特にスピーキングをメインに学習を進めていきました。さらに、ある話題について他の学生とグループを組んで英語で意見交換する学習も多かったため、その中で臆することなく自分の考えを英語で発言する力が身につきました。現在は、学校の英語の授業では以前よりも、発言する機会も増えました。今後は、さらに英語力を高めていきたいと思っています。(千寿桜堤中学校3年 村上 直樹)

(2) 明海大学英米語学科学生

私は、今回のスピーチコンテストにとっても後悔しています。資料としてパワーポイントを用意していないことと、練習不足です。ですが、スピーチの内容は今までで1番の作品が出来たと思います。それは先生方に教授して頂いたからです。このような先生になれるよう精進したいです。

(明海大学英米語学科2年 佐藤 向日葵)

今の私は何を伝えたいのかを考えた時、真っ先に今回の題材が浮かびました。授業で効果的な原稿の作り方や話し方を学び、それを参考にしながら本番は何か一つでも伝わるものがあればと思いながらスピーチをしました。現在の状況下でこのような貴重なご機会をいただきありがとうございました。

(明海大学英米語学科2年 高橋 凜)

5 司会担当学生の感想

私は司会という立場で参加者の皆さんのスピーチを聞くことができ、とても素晴らしい経験が出来ました。昨年度も成果発表会を見学させていただいたのですが昨年度以上に素晴らしい発表の数々でした。発表された皆さんは中学、高校に通われている生徒さんでしたが大人顔負けの英語が使われていて相当練習と勉強を重ねてきたのだなと感じました。

(英米語学科4年 中村 亮介)



フェイスシールド着用の司会者

特別講義の様子

6 明海大学における取組と今後の展望

参加者の発表は昨年の第1回と比較して飛躍的に向上した。また午後の特別講義も教育的効果が高く、今後も同様のプログラムの継続が望ましい。

④ 英語支援 東京都立葛西南高等学校「校内寺子屋」支援

実施概要：期 間：2020年9月～

内 容：放課後の英語補習授業の概要

実施校：東京都立葛西南高等学校

報 告：坂本 純一（教職課程センター・地域学校教育センター教授）

1 はじめに

東京都教育委員会では 2016 年度から都立高校生の基礎学力の定着を図るために放課後の補習授業「校内寺子屋」事業を実施している。東京都立葛西南高等学校では事業開始当初からこの事業に数学と英語で参加し、5 年目を終えようとしている。補習授業は外部講師によることとしており、英語に関しては本学の学生が一貫して講師を務めている。

2 実施の概要

(1) 実施期間

第1学年月曜日クラス（計13回）

2020年9月14日～2021年2月15日

第1学年木曜日クラス（計14回）

2020年9月10日～2021年2月25日

(2) 実施場所

東京都立葛西南高等学校5階教室

(3) 対象生徒

東京都立葛西南高等学校1年生30名

(4) 講師担当者（計11名）

*いずれも教職課程履修者

外国語学部英米語学科

4年：鶴巻 紗希 寺内 朋之 内藤 卓

藤田 祐也 宮本 隆一

3年：高橋 勇氣

2年：及川 龍之介 君塚 翔伍 椎葉 晴斗

鈴木 歩 高橋 凜

(5) 教材

「とってもやさしい英語中学1年」(旺文社)

及び講師作成教材

3 実施の様子

学生が複数で担当するTTの形を基本とした。英語に苦手意識をもちながらも、寺子屋での授業を機

に学び直しに意欲を示す生徒や、学習を諦めそうになっている生徒など、さまざまな生徒と向き合う中で、教職が単なる知識の伝達ではなく人を育てる仕事であることを痛感する貴重な機会となった。

今年度は講師担当学生同士の情報共有を密にすることで例年にもまして充実した支援が実施できた。

4 実施してみたの気付きと感想

少人数なので一人一人にかけられる時間があり生徒も積極的に取り組んでいます。主にテキストで授業しますが、テスト対策も行っています。生徒たちは熱心なので、やりがいを感じます。ワークシートの作成や板書、机間指導、生徒とのコミュニケーションなど教育実習で学んだことを寺子屋では活かして取り組めたと思います。来年からも教育実習や寺子屋での経験を活かしていきます。（鶴巻 紗希）

校内寺子屋は実際の生徒を前に授業をすることが出来る貴重な体験です。以前も参加していましたが、教育実習を終えてから参加する校内寺子屋は自身が教育実習で成長したこともあり、見える景色が違いました。実習で学んできたことを実際に活かすこともできました。また、生徒のためによりよい授業方法を考えたり、工夫をしたりする時が非常に楽しかったです。（宮本 隆一）

私は一人一人に合った支援を心掛けています。英語に限らず、勉強が苦手になってしまうきっかけや嫌いになってしまうきっかけは様々だと思います。生徒一人一人が置かれている状況や環境などをしっかりと把握することがまずは必要だと感じています。私達が生徒に寄り添っていくことが、生徒の皆さんの未来を明るく照らすきっかけになるのではないかと考えています。（藤田 祐也）

昨年度に引き続き校内寺子屋の講師を担当させて

いただきました。1回の授業につき2人の学生によるチーム・ティーチングで授業をしました。中学校1年レベルの教材を使用し、参加している生徒の基礎を定着させるためにどうすればよいのかを考えながら行いました。教材準備の時から何をすれば生徒たちのためになるのかを考え行っていたため実際に指導するときにはスムーズに進めることができました。その結果、生徒が質問に対して答えやすい環境を作り出すことができました。(高橋 勇氣)

「どのように説明すれば生徒にわかりやすく伝わるか」「英語に対する苦手意識が減ってほしい」という思いで授業を行ってきました。初めは私も緊張しており、生徒とのやり取りが少なく、一方的な授業になってしまい、生徒も退屈だったと思います。しかし、授業を重ねていくことで、生徒とのやり取りが増え、自ら発表したり、話しかけてく生徒も増えました。(及川 龍之介)

初めて人に教える経験をしました。教える瞬間のみが、教員の仕事ではなく前段階からすでに授業は始まっているように感じました。実際に教える瞬間もそうですが、生徒の名前を覚えたり具体的な授業構成を考えたりすることは想像よりもずっと大切な部分だと学びました。友人と協力することで何とか1時間を生徒と過ごしましたが将来は一人でやらなければならないので、今回の経験は必ず将来、私を助けてくれると思いました。(椎葉 晴斗)

初めて校内寺子屋に参加させていただきました。個別指導の経験はありましたが、複数人に指導する経験がなかったので、最初の数回は不安で仕方ありませんでした。しかし、葛西南高校の先生、生徒の皆さんが暖かく受け入れてくださり、とても取り組みやすかったです。また、一緒に授業をしてくれた教職の学生さんと授業を組み立てていく中で自分らしい授業を見つけられた気がします。(高橋 凜)

5 学校の感想

東京都の学力推進事業として始まった「校内寺子屋」は今年度で5年目を迎えます。本校では、生徒の苦手意識の強い英語を学び直しの科目として放課後を活用し、学び直しの講習に取り組んでまいりま

した。今年度は、コロナ対策において年度当初は、自宅学習が続き9月からの開講となりましたが、明海大学外国語学部の学生さんが講師として御来校いただき、その成果として講習参加率70%、成績が向上した生徒は11名/17名になりました。改めて感謝申し上げます。

(東京都立葛西南高等学校 校長 佐々木 雅人先生)

本校では、実力テスト、定期考査の結果をもとに、学習に躓きが予想される生徒を抽出して寺子屋を開講しました。受講生徒の中でも学力の幅がある中、授業の工夫改善に努めて頂き有難うございました。特に、毎回自作プリントを作成していただくなど、生徒一人一人の学力に応じた、きめ細やかな指導をして頂き感謝申し上げます。皆さん、熱心に教材研究と指導を実践して頂き生徒が学習に対して前向きになるきっかけとなりました。感謝

(1学年主任 洞口 雄介先生)

私は英語が苦手で、寺子屋で重点的に教えてもらっています。最初は、寺子屋に行ってもテストの点数は伸びないと思っていました。しかし、通っていくうちに少しずつ分からない問題が解けるようになりました。わからないところは1つ1つ丁寧に教えてくれるので、前回よりもいい点数を取ることができました。私は寺子屋に行っても本当に良かったと思いました。(1年 中山 心愛さん)

私は英語が苦手でした。最初はあまり気が乗っていませんでしたが、先生方が優しく丁寧に教えてくださったので英語学習へのモチベーションが上がり、また行きたいと思うようになりました。何よりも先生方が話しやすく、本当に助かりました。今では、英語のテストや授業などで問題を解けるようになり、点数も上がりました。(1年 新 治紀さん)



① 浦安市小学校英語支援

期 間：2020年9月から2021年3月

場 所：浦安市立入船小学校、浦安市立日の出小学校、浦安市立美浜南小学校

参加者：信太 明日華、鶴巻 沙希、内藤 卓（英米語学科4年）

中村 陸、山崎 紗緒里、山崎 隼弥（英米語学科4年）

嶋田 宗晋、高橋 勇氣（英米語学科3年）

及川 龍之介、佐保 翼、鈴木 歩、横田 裕哉、（英米語学科2年）

報 告：木内 和夫（教職課程センター・地域学校教育センター教授）

1 はじめに

2017年度、本学と浦安市教育委員会との間で教育に関する連携協定が結ばれてから現在に至るまで、小学校英語支援や小学校英語教員研修会などの支援事業を実施してまいりました。本年度はコロナ禍の影響で開始が半年ほど遅れましたが、9月から12人の学生が小学校英語支援ボランティアとして市内3つの小学校に派遣され総時間395時間のボランティアを行いました。

2 実施概要

(1) 浦安市立入船小学校

入船小学校には2人の学生が英語指導支援の形で世話になりました。ALTや担任の先生方とのTT等を具体的な体験的に学ぶことができました。

① 小林桂子校長の感想

本校では、3年生以上の学級は、担任とALTの複数で指導していますが、低学年は担任1人で指導しています。そのような中、低学年の学級に、英語支援ボランティアとして英語を話せる学生が入り、ALTのような役割をしてくださったことは、たいへんありがたかったです。単語の発音や会話のモデルを担当と一緒にしました。また、担任と学生の複数で指導することで、一人一人にきめ細かく対応することができました。これからも、是非続けていただきたいと思います。

② 児童の感想

・お兄さん、お姉さんが、優しく教えてくれるので、来てくれるのが楽しみです。（1年）

・いつも発音を教えてくれます。一緒に勉強するとわかりやすいです。（2年）

・わからない時に聞くと、すぐに教えてくれるので、嬉しいです。（2年）

③ 学生の感想（2年 横田 裕哉）

小学校英語支援ボランティアに参加して、次回もぜひ参加したいと思いました。私は今までこのようなボランティアに参加してきませんでした。何故なら、自分の英語力に自信がなく、児童とうまくやっていたか不安で、現実から逃げていたからです。しかし、このままではいけないと思い、参加を決意しました。うまくいかないことは沢山ありました。しかし、回数を重ねるごとに改善できました。今回、ALTの先生が担当しないクラスに配当され、担任の先生のサポートをしました。児童とのコミュニケーションの難しさを学ぶことができました。一步踏み出すことができ本当によかったです。これから積極的にボランティアに参加して多くのことを経験していきたいです。



(2) 浦安市立日の出小学校

日の出小学校には延べ4人の学生が英語指導支援

の形でお世話になりました。ALTや担任の先生方とのTT等を具体的体験的に学ぶことができました。

① 吉田 美恵子校長のお話

コロナ禍ではありましたが、感染予防に十分配慮し、協力していただきました。子供たちに積極的に関わり、活動の説明を担当とペアで行ったり、発音のモデルを示したりしてくれました。笑顔で「Good job!」と称賛してくれたおかげで、子供たちは自らに自信を持ち、意欲的に活動することができました。学生さんとのコミュニケーションを通して、自信を持って楽しみながら外国語活動に参加する子が増えていることが何より嬉しいことです。

② 児童の感想

・わたしは、発音があまり上手じゃなかったけれど、しだ先生やつるまき先生の発音を聞いてとても上手になりました。二人の先生と英語の勉強をして英語が楽しくなりました。(2年)

③ 学生の感想 (4年 信太 明日華)

2年生の外国語活動の英単語の発音練習に参加させてもらい、授業内で英語を使ったアクティビティも毎時間、児童たちとたくさん交流できる時間があった、とても嬉しいです。積極的に授業で受け答えをしてくれて、目をキラキラと輝かせ、楽しく授業に参加してくれている姿を見せてもらっています。児童たちが興味を持つ英語を使ったゲームのアイデアがとても斬新で、毎回とても勉強になります。小学校の先生方は、児童一人ひとりをサポートされていて、すごいと思います。児童たちを授業に集中させる指示の仕方なども学ばせていただいています。大変なこともあると思いますが、教員は素晴らしい職業だと改めて思いました。



(3) 浦安市立美浜南小学校

明海小学校には7人の学生が英語指導補助の形

でお世話になりました。ALTや担任の先生方とのTT等を具体的体験的に学ぶことができました。

① 蓮尾剛史校長の感想

コロナの感染拡大により外部人材を招聘することが出来ない状況の中、多くの人との触れあいを重視している本校にとって、健康の管理をしっかりとやってくれている学生の皆さんが子どもたちと接して下さったことは大変ありがたいことであった。主には外国語活動の助手として関わっていただいたが、それ以外の授業や休み時間なども子どもたちと接していただき、本校の子どもたちにとって、生きた学びになったと確信している。学生の皆さんにも、教育の素晴らしさを実感していただけていたら幸いである。

② 児童の感想

英語を聞く機会が倍くらいに増えたと思う。他の先生より近くにいてくれるので聞きやすく、英語がわかるようになりやる気が出てきた。自信が持て、安心して活動や発表ができた。(6年)

③ 学生の感想 (4年 山崎 紗緒里)

小学校英語のボランティアを今回初めてさせていただきました。ボランティアの中では、外国語活動及び外国語科の授業に参加します。私がボランティアに伺っている美浜南小学校ではチームティーチングで行なっている授業に学習支援員として学生が活動させていただけます。主に行う事項は、授業見学、児童の様子をみてサポートに入ることです。このボランティアをすることで小学校英語教師はどのように指示をだすのか、どのような話し方なのか、どのような学習をするのかを知ることができます。



②浦安市青少年自立支援「未来塾」

日時及び参加者：

英語教室 新町未来塾 佐藤 向日葵・鈴木 歩・佐保 翼（英米語学科2年）
2020年7月22日から8月26日 18:00～20:00

数学教室 入船中未来塾・美浜中未来塾 藤井 侑輝・中里 圭（経済学科3年）
2020年9月10日から2021年2月4日 18:00～20:00
日の出中未来塾 伊藤 正紀（経済学科3年）
2020年9月9日から2021年2月3日 18:00～20:00

報告：百瀬 美帆（教職課程センター・地域学校教育センター教授）

1 はじめに

浦安市生涯学習部生涯学習課主催のこの事業は地域の人材が地域の子どもの学習を支援するために行われている。

2 実施の様子（参加学生の感想）

※英語支援の様子

私は今回はじめて未来塾に参加し、中学1年生を担当しました。今年は新型コロナウイルスの影響で1年生の学習が遅れており、学習状況をその都度聞いて取り組 見ました。生徒の反応を見ることで、習熟度が分かるようになったと感じます。（英米語学科2年 佐藤 向日葵）

私は初めて未来塾に参加しました。最初はなかなか生徒と楽しく話したりわかりやすい説明ができず苦戦してましたが、回数を重ねる毎に生徒の方から「わかりやすい」と言ってもらえたり、最近あった出来事などを話してくれるようになりました。週に1回しかなかったのですがとても楽しく、いい経験をする事ができたと思います。（英米語学科2年 鈴木 歩）

私は浦安市青少年自立支援未来塾に参加してとても良かったと思います。初めて生徒に教える立場を経験して、教える時に気をつけなければいけないことを多く見つけることができました。（英米語学科2年 佐保 翼）



鈴木さん
(左)
佐藤さん
(右)



(上) 英語指導中の佐保さん(右)

※数学支援の様子

今回、初めて未来塾に参加させて頂き、色々な経験をする事ができました。勉強が苦手な学生が自分の力で問題を解けるようになる姿を毎週見ている、子供たちの成長にはとても驚き、子供たちの可能性を垣間見ることができ、とてもよい経験ができました。

(経済学科3年 伊藤正紀)

こんなご時世ではありますが、今年の生徒達は休むことなく未来塾に参加してくれています。その積極的な姿勢により、学校の問題集の疑問点を解消するだけでなく、入試問題に挑戦したりと、一段上の学習を行うことができ非常にやりがいを感じています。

(経済学科3年 藤井 侑輝)



数学指導中の藤井さん(右)



数学指導中の中里さん（右）

3 浦安市担当者の感想

青少年自立支援未来塾は、平成 27 年度より市立中学校の生徒に学習習慣の確立や基礎的な学力を身につけさせるなど、学力の向上を図ることを目的に始めました。

6年目を迎える今年度は、7月から8月に全5回の英語教室、9月から2月に全20回の数学教室を実施し、生徒一人ひとりの躓きや困り感の解消に繋がるきめ細やかな学習支援を心がけました。

英語教室に参加した生徒の事後アンケートによると、放課後の学習時間が平均で0.34時間増加するとともに、82%の生徒が1学期の学習内容の理解が深まったと回答しており、「やればできるようになると感じた。家でもやろうと思った。」「苦手な問題に取り組み、何度も質問したけど解けるようになって驚いた。」など生徒自身が学力の向上を実感し、自信に繋がったことが一番の成果だと感じています。

実際の学習指導・支援は、地域住民や大学生を中心とした学習支援員が生徒の実態に応じて主体的に行っており、「手を挙げるとすぐに駆けつけてくれるので安心して学べた。」「優しく分かるまで教えてくれた。」など気軽に質問できる雰囲気づくりと、生徒に寄り添った温かい関わりで生徒と良好な関係を築いていました。

特に、明海大学の学生の方々が、生徒の言葉一つひとつに耳を傾け、納得するまで熱意を持って支援する姿勢に感心するとともに、生徒にとって大変頼もしいものだったと思います。何より学生の方々の明るい笑顔は、「まずはやってみよう。」「質問してみよう。」という教室全体

の雰囲気を生み出す原動力になりました。また、この経験を通し、「生徒に一生懸命教えて、できるようになった瞬間が本当に嬉しかった。」「英語教師が将来の夢だと胸を張って言えるようになった。」など学生の方々の成長に繋がる機会になったことを嬉しく思います。これからも、「生徒」と「学生」の双方が互いに学び合えるような取り組みを明海大学の方々と一緒に進めていきたいと思っています。

今年度は45名の方が学習支援員として活躍くださるなど、学習支援の輪が明海大学をはじめ市内全体に年々広がっています。子どもたちへの「学習支援」は、支援する者の成長や生きがい、喜びに繋がる効果的な社会教育活動です。この取り組みが地域主体による放課後の学習支援の基盤となり、本市の学校と地域の連携・協働の推進がより一層図れることを期待しています。

(浦安市生涯学習部生涯学習課生涯学習係
主任主事・社会教育主事 香川 敦司氏)

4 実施の感想と今後の課題

支援する学生、支援を受ける中学生双方に充実感がある事業であり、今後の継続が望まれる。

5 明海大学生参加状況

学生氏名 教室名 支援科目	学部 学科 学年	場所 日時 生徒数
佐藤向日葵・ 鈴木歩・佐保翼 新町未来塾 英語	外国語 英米語 2年	日の出公民館 7/22～8/26 38人
藤井 侑輝 入船中未来塾 数学	経済 経済 3年	美浜公民館 9/10～2/4 24人
中里 圭 美浜中未来塾 数学	経済 経済 3年	
伊藤 正紀 日の出中未来塾 数学	経済 経済 3年	日の出公民館 9/9～2/3 22人

③ 浦安市小学校支援 浦安市小学校校内研究支援

実施概要：期 間：2020年7月～

内 容：明海小学校校内研究（外国語活動・外国語）の概要

実施校：浦安市立明海小学校

報 告：石鍋 浩（教職課程センター・地域学校教育センター教授）

《はじめに》

今年度より新学習指導要領が完全実施され、5・6年生は「外国語科」がスタートした。明海小では1年間に1・2年生は14時間程度、3・4年生は35時間、5・6年生は70時間の英語の授業を実施している。そして、校内研究を「笑顔いっぱい 楽しい！わかった！チャレンジ！英語楽習」～みんなが自信を持てる授業づくり～を研究主題に、外国語活動・外国語科指導の研究に取り組んでいる。全体講師として、教職課程センターの石鍋浩 教授が務め、全学年で研究授業（スマイルアップ授業）を実施した。

以下に今年度の実践の概要を記す。

《明海小学校の研究》

（今橋 恵一校長 児童数361名）

1 校内研究概要（3年計画3年次）

（1）令和元年度末のアンケートまとめ

回答数：教員 20、児童 315

① 教員

- ・「英語を話すことが好きですか」「英語を聞くことが好きですか」の質問には、どちらも70%が肯定的回答をした。
- ・「英語の授業をするのが楽しいですか」の質問には、88%が肯定的な回答をした。
- ・「T1で授業を行うことができますか」の質問には、74%が肯定的な回答をした。
- ・「英語を使って褒めることができますか」の質問には、80%が肯定的な回答をした。
- ・「ALTとの授業について打ち合わせをしていますか」の質問には、62%が肯定的な回答をした。

② 児童

- ・「英語を話すことは好きですか」の質問には、78%が肯定的な回答をした。
- ・「英語を聞くことが好きですか」の質問には、80%が肯定的な回答をした。
- ・英語を使って友達とやり取りするのは楽しいですか」の質問には、85%が肯定的な回答をした。
- ・「英語を今よりもっと学習したいですか」の質問には、85%が肯定的な回答をした。

（2）重点テーマ

SMILE & COMMUNICATION

（3）研究仮説

安心して楽しく学習できる授業構成を探れば、児童も教師も自信をもって外国語活動・外国語科に取り組むことができるだろう。

（4）主な研究日程

- 4月：研究推進委員会、部会及び研究全体会（研究基本方針及び主題・内容等の検討）
- 5月：各部会（教材研究：「目的・場面・状況」を明確にしたコミュニケーション）
- 7月：各部会、研究推進委員会及び研究授業
- 9月：各部会及び研究授業
- 11月：各部会及び研究授業
- 12月：各部会、研究推進委員会及び研究授業
- 1月～：研究のまとめ

2 外国語活動・外国語スマイルアップ授業

2020年7月9日（木）、9月10日（木）、11月19日（木）、12月10日（木）の4日間に「外国語活動・外国語スマイルアップ授業」と銘打って、研究授業を行った。本学石鍋教授は、計7学級の授業を参観した。

○7月9日(木)

4年1組	I like Mondays. 好きな遊びを尋ねたり答えたりしてみよう。
------	---

○9月10日(木)

1年3組	Body parts からだをつかっていたのしくあそぼう
2年1組	Many vegetables! pizzaを作ろう!

○11月19日(水)

3年2組	What do you like? もっと友達となかよくなろう
5年2組	Where is the post office? 夢の町で道案内をしよう

○12月10日(木)

6年2組	Let's think about our food. オリジナル料理をつくろう
にじいろ 学級	What (animal) do you want? アニマル王国をつくろう



3 英語学習についての感想 (抜粋)

【教員】

- 今年度は、①目的・場面・状況の設定 ②ALTとの役割分担 の2点に目標をしぼったので、取り組みやすかった。
- 担任が積極的に英語を使うことで、児童も間違いをおそれずに声を出さることができていると感じた。
- 「英語で会話をしたい」と思えるような場面設定を行うことで、学習意欲が高まり、楽し

みながら英語学習を進めることができた。

- T1で指導するのは、はじめてだったが、流れを毎時間同じにすることで、教師も子供達も見通しをもって学習することができた。
- 少しずつ自信がついてきたが、もっとクラスルーム・イングリッシュが使えるように、がんばりたい。
- ALTと打ち合わせの時間を捻出するのが難しいが、連携がとれていると子供達も安心するので、できるだけ事前に準備したい。
- ゲームや歌ばかりでなく、子供達が「話しが通じる楽しさ」を感じられるようにしたい。
- 「外国語科」になり、単元目標の設定や評価の書き方が難しいと感じている。

【児童】

(6年生)

- 今年は授業の中で発表が多かった。発表があるほうが目標ももてて、よかった。
- 5年の時よりスピーチが増えたが、そのおかげで英語がけっこう話せるようになった。
- 5年生のときより、文章を考えてスピーチすることが増えて、スピーチが上手になった。文章を考えて書くから、書くのが速くなった。
- 英語学習を、来年の中学校生活に役立てたい。
- 今年は発表があって、少しいやだった。
- 6年生になって少し難しくなった。特に文を書くのが苦手。

(5年生)

- 注文の方法を学んで、外国のレストランでも上手に注文できそう。
- 英語で、みんなのお気に入りの人を紹介するのが楽しかった。
- 楽しんでいるうちに単語や言葉を覚えられて、すごいと思う。
- ゲームや歌は楽しい。でも英語で文章を書くのがすごくむずかしい。
- あまりしゃべれないし、おぼえられないから、英語はきらい。

④浦安市学習支援事業「ドラフトゼミ」

日 時：2020年4月から2021年3月

場 所：浦安市内の公共施設

参加者：高橋 勇気、佐久間 健祐（英米語学科3年）

及川 龍之介、君塚 翔伍（英米語学科2年）

報 告：木内 和夫（教職課程センター・地域学校教育センター教授）

1 実施概要

浦安市学習支援事業「ドラフトゼミ」とは、小学校4年生から高校3年生及び高校在学年齢までの子どもがいる困窮世帯及び母子(父子)世帯を対象に、学習支援をはじめ、日常生活習慣、仲間と出会い活動ができる居場所づくり、進学に関する支援、高校進学者の中退防止に関する支援、子どもと保護者の双方に必要な支援を実施します。週3回、自習の場の提供を支援事業の中核としております。現在、学習支援、居場所作り、社会体験の3本柱で支援をおこなっております。

2 ドラフトゼミ主任 齋藤 香代子さんのコメント

私たちは、市から委託を受けた、浦安市学習支援事業を行って6年目になります。具体的には、生活困窮世帯及びひとり親世帯など、事情を抱えた世帯の、小学4年生から高校在学年齢までの子どもの学習支援を行っています。現在、7人に1人の子どもが貧困状態にあると言われていています。貧困問題を抱える子どもたちは、経済的な困窮を背景に、教育や体験の機会に乏しく、地域や社会から孤立し、様々な面で不利な状況に置かれてしまう傾向にあります。浦安市も決して例外ではありません。

現在、浦安市学習支援では、週3回、各回3時間、浦安市の公共施設にて学習支援を実施しており、子どもたちは、宿題やテストのための課題などを持ち寄って学習しています。明海大学の学生の皆さんを含むスタッフが、子どもたちのそばについて分からないところなどの勉強を丁寧に教えています。子どもたちの学力は決して高くありません。むしろ遅れている子がほとんどです。明海大学の学生さんは、子どもたちからの質問に対し、どんな質問にでも真

摯に向き合い、一緒に考えてくれています。時には、勉強だけでなく、雑談から悩み相談なども受けています。

子どもたちに、明海大学の学生さんの支援についての感想を聞くと、「課題などの分からない所を分かるようになるまで教えてくれます」とか、「勉強を分かりやすく教えてくれます」、「今まで解けなかった問題が解けるようになった」、「英語の長文問題が分かるようになった」、「気軽に最近の出来事を話せて、相談なども親身になり聞いてくれます」、「相談にも親身になり聞いてくれるので、話をしていると楽しいです」、「英語が楽しくなった」といった声が上がってきています。

コロナ禍の中、学習支援自体が出来ないこともありましたが、スタッフが家庭訪問などを行ってつながりを維持してきました。様々な事情（生活困窮、ひとり親世帯、不登校、家庭が複雑）を抱える子どもたちですが、明海大学の学生さんたちは皆、子どもに寄り添い、けして勉強が好きではない子どもたちに対し、辛抱強く教えてくださいます。そして、子どもたち1人1人と関わりを持とうとしてくれています。普通にしていたら、出会うことのない子どもたちと出会うことによって、学生の皆さんも得るものがたくさんあったのではないかと思います。実際、ここに来て頂くようになって、明海大学の学生さんたちの意識も変わってきています。今後も彼らの活躍を期待しています。そして、学習支援に来て意義のある時間を送って頂けたらと考えています。

3 参加した学生の感想

ドラフトゼミでは主に家庭に特別な事情を抱えている市内の小学生・中学生や不登校になっている小

学生・中学生相手にその児童・生徒が持ってきた教材(テストに向けた勉強、学校から出された課題など)でわからない所、問題が解けないときなどにサポートを行うことをメインに行なっております。そのほかにも浦安市内にキャンパスがある他大学(了徳寺大学・順天堂大学)とも連携をはかり行事の計画・運営、サポートなど多種多様な児童・生徒のためになる活動を行っております。

私は講義やボランティアの関係上週1度火曜日にしか基本出ることができておりませんが可能な日には出勤することを心がけています。出勤し児童・生徒と話すときには、普段の学校生活の話やテストの結果、夢を持つことの大切さなど様々なことを話すように心がけています。このアルバイトを通じて今までのボランティアでは違った視点でも児童・生徒を見ることができるようになりました。

(英米語学科3年 高橋 勇気)

私は現在、ドラフトゼミに参加して生活困窮者自立支援法に基づいて学習面でのサポートを行っています。様々な家庭事情を抱える子どもたちと接するのは決して容易ではなく、様々な配慮を必要とする点が非常に難しい点ではあるものの、参加させていただく前は私自身どのように子どもたちに接するべきかわからなかった時期もあるため、非常に良い勉強の機会にもなっています。また、学習面だけでなく、内面的なサポートも大変重要なことに気付かされました。この活動を通じて子どもたち一人ひとりの個性を認め、受け入れることが大切なのだと感じました。今現在コロナ禍の影響もあるため、昨年よりも体調管理に気を配りつつ行っている状態です。一人ひとりの良い体調の維持に努めつつ、我々も一丸となって子どもたちのサポートを行っていきたいと思います。(英米語学科3年 佐久間 健祐)

私は今年の夏からドラフトゼミの活動に参加しています。そこで私たちは小学生、中学生、高校生の生徒に勉強を教えており、その中でも英語を苦手とする生徒が非常に多いことが分かりました。私自身も最初は英語という教科が大嫌いでしたが、ある先

生と出会い、英語が好きになり、成績が伸び、今では大学で英語を学んでいることもあり、「英語がわからない生徒の気持ちがわかる」という私の強みであり信念であるこの言葉を基に生徒個人にあった説明を日々心掛けています。この活動で一番うれしいのが「成績が上がった」「英語が分かってきた」という言葉を生徒からかけてもらうことです。この気持ちは将来先生になったときにも忘れないようにしたいと思います。(英米語学科2年 及川 龍之介)

私は、2020年2月21日からドラフトゼミに参加しています。ドラフトゼミには、小学生から高校生まで様々な生徒が来ています。彼らの多くの家庭は、シングルマザーや生活保護を受けているなど、何らかの問題を抱えています。また、不登校だったり、通信の学校に通っている子もいます。そのような子供たちと関わる機会は、ドラフトゼミに参加しなければ、無かったと思います。彼らの問題を解決することは出来ませんが、話を聞いてあげたり、居場所を作ってあげることは私たち学生でも出来ます。そして、彼らと関わり、多様な生徒の現状を見ることで、将来私が教員になった際に、問題を抱えた子供に対して、冷静に対処できると私は考えます。また、子どもたちとの関わり方を学ぶことが出来ています。

(英米語学科2年 君塚 翔伍)



⑤明海大学・朝日大学共催 2020 英語授業改革セミナー「本気で授業改革！」

日 時：2020年12月20日 方 法：ZOOMによるオンラインセミナー
 講 師：基調講演 明治大学 国際日本学部教授 明治大学理事 尾関 直子氏
 ワークショップA 発表者 三重県立宇治山田商業高校教諭 児玉 靖明氏
 コーディネーター 朝日大学 経営学部・英語教育センター准教授 亀谷 みゆき氏
 ワークショップB 上智大学講師 北原 延晃氏
 コーディネーター 明海大学教職課程センター・地域学校教育センター教授 石鍋 浩
 ワークショップC 発表者 明海大学外国語学部英米語学科講師 前田 隆子
 コーディネーター 明海大学教職課程センター・地域学校教育センター教授 百瀬 美帆

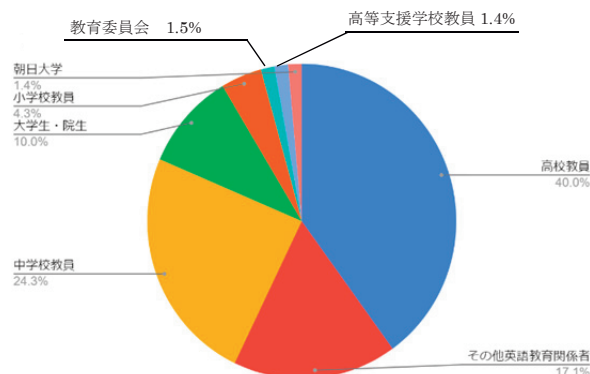
1 はじめに

英語授業改革セミナー「本気で授業改革！」は、2018年8月に第1回を開催して以来翌2019年には朝日大学との共同開催を実現し、今回で3回目の実施となった。実施の目的は、大学等における英語教育分野での研究や教育の成果を初等中等教育に還元し、地域の英語教育改革推進に寄与することである。

対面のセミナーを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて、2020年12月3日にオンラインでの実施に変更した。
 実施状況

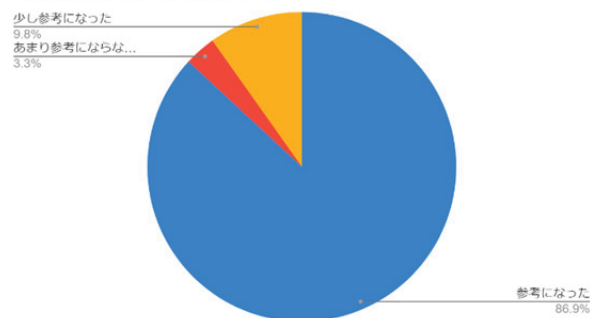
(1) 参加者

北海道から沖縄まで計26都道府県より約120人の参加があった。参加者の所属内訳は次の通り。



(2) 事後アンケートによる実施評価

① 基調講演は参考になった。



② 参加者アンケート

・小学校レベルでは難しい専門的、高度な内容でしたが、とても勉強になりました。研究を続けて

内容 明海大学・朝日大学共催 2020英語授業改革セミナー 「本気で授業改革！」

開 場 9:30
申込後に開講式と基調講演共通のURLを配布

開講式 9:40～9:55

10:00～11:30

第1部 基調講演
 演題 「新学習指導要領と学習者の自律」
 講師紹介 尾関直子 (おせきななお) 明治大学国際日本学部教授、明治大学理事、大学英語教育学会副会長
 専門は「自律した学習者」や「学習ストラテジーを中心とした第二言語習得理論」CAN-DOリストなどを使ってタスクを取り入れた授業についての研究・著書多数 近年は明治大学国際日本学研究所において研究者や教育者の育成に注いでいる。
 (1)13:00から14:15と(2)14:30から15:45の2つの時間帯に分けて実施します。(1)と(2)の時間帯におけるテーマ及び内容は同一です。
 ※参加申し込み後に下記A・B・CそれぞれのURLをお知らせします。
 ※(1)は12:50(2)は14:20に接続を開始しますのでお好きなワークショップにご参加ください。
 ※(1)と(2)で異なるワークショップに参加する際には、(1)のZOOMを退出し、(2)で受講するZOOMのURLからミーティングに入ってください。

部	校種	講義室	担当	ワークショップテーマ	時間帯
第2部 ワークショップ	A 高校	2204	発表者：児玉 靖明 三重県立宇治山田商業高校教諭 コーディネーター：亀谷 みゆき 朝日大学 経営学部・英語教育センター	目標・指導・評価の一体化による授業改善 — 発信力の育成を目指して—	(1) 13:00 (2) 14:30
	B 中学校	2205	発表者：北原延晃 上智大学・聖心学院大学非常勤講師 (前港区立赤坂中学校) コーディネーター：石鍋浩 明海大学 METTS	指導授業が10.8%増加！ どうする？授業指導 ～ 北原メソッドなら中学で認知授業数300.0倍～	(1) 13:00 (2) 14:30
	C 小学校	2203	発表者：前田隆子 明海大学外国語学部 英米語学科講師 コーディネーター：百瀬美帆 明海大学 METTS	教科書を使った授業実践 —小・中連携を意識して—	(1) 13:00 (2) 14:30

すでに申し込まれた方々にはZOOM URLを直接ご連絡いたしますが、12月15日までに届かない場合は、お手数ですが表面のQRコードまたはURLより再度お申込みください。

いきたいと思いました。(小学校教員)

・何のために英語を学ぶのかということ自身に問い返すことができ、その分野のことも学び **learning strategy** を意識して授業を作っていきたいと思いました。もう一度お聞きして学びを深めたい内容でした。(中学校教員)

・現場の教員が意識改革するために、自身の実践を裏付ける十分な資料と具体的なご提案をいただきました。本当に感謝しています。是非、現場に生かしていきたいです。

③ ワークショップ A (高校) 感想

参加者感想 (抜粋)

・児玉先生の実践例を拝見し、とにかく生徒が自ら英語で表現したくなる工夫が散りばめられており、大変参考になりました。亀谷先生のお話には、何度聞いても、新しい気づきと学びがあり、明日からの活力になりました！(高校教員)

④ ワークショップ B (中学校) 感想

参加者感想 (抜粋)

・改訂新教科書で大幅に増加する語彙指導について、大きな不安がありました。しかし、発信語彙と受容語彙に分けて指導すること。特に発信語彙をどのように考えるのかという問題には、東京都中英研究部推奨発表語彙リストを利用して指導していけばよいこと。これからの指導の方向性が見えたワークショップでした。(中学校教員)

⑤ ワークショップ C (小学校) 感想

参加者感想 (抜粋)

・外国語教育の流れ、そして学習指導要領のポイントが大変わかりやすくまとめられていました。小学校の先生方は「何を」「どこまで」というところについて不安を覚えているのが現状です。今日のお話をぜひ、もっと多くの小学校の先生方に聞いてもらいたかったです。(英語教育関係者)

事業全体に対する感想

・コロナ禍でも、このようにオンラインで研修に参加し、体験、意見交換が出来たことを嬉しく思います。授業改善のヒントを貰えたので、早速、実践していきたいです。(高校教員)

・本来なら、実際に会場に行かなければ参加できな

いセミナーでしたが、リモート開催により私のように地方在住者でもこのようなセミナーに参加できたこと(しかも無料で!)、大変感謝しております。

企画・準備・運営など大変だったと推察します。どうもありがとうございました。(中学校教員)

・ブレイクアウトルームで交流ができたのがよかったです。(小学校教員)

3 オンライン技術支援学生の感想

3 ワークショップを同時に配信するための技術補助を担当した英米語学科教職課程履修学生3名のうち4年生2名の感想は次の通り。

私は技術補助員として亀谷先生、児玉先生が発表する高校のワークショップに参加しました。お二方の発表をすぐ近くで聴講することができ、とても参考になったとともに将来教員になったとき心掛けるべきことがわかりました。視聴されていた参加者の方々もお二方の明るい話し方もあり終始講話を楽しんでいたと感じました。今回の催しに参加できたことで、教員になった際には細かなところを疎かにせず「本気で授業改革」をしていきたいと思えました。

(英米語学科4年中村 亮介)

配信補佐を初めて経験しましたが、本番の緊張感がとても強く記憶に残っています。北原先生の講座では中学校英語を取り上げられていて、主に単語の導入に関して重点的に話をされました。これから教壇に立つ私にとってとても有益な内容でした。また、ブレイクアウトルーム内の会話からは現場の先生方のリアルな反応を聞くことが出来たので、自分が将来教員となった時、よりわかりやすい授業展開をするための手段として学んだことを活かしたいです。

(英米語学科4年内藤 卓)

4 成果と今後の課題

オンラインセミナーの実施により遠隔地からの参加も可能となり、日本各地における授業改革に寄与することができた。同時にオンラインでの実施に関する技術を向上させる必要を感じた。

(4) 2020 年度教職課程・地域学校教育センター (METTS) の歩み

大池 公紀 (外国語学部教授 教職課程・地域学校教育センター副センター長)

1 2020 年度の活動について

2020 年度は、全てが「コロナ」に集約される一年であった。コロナによって失われたものもあれば、新しく得た知見もあった。4月7日の第一回緊急事態宣言の発出によって5月6日まで臨時休校となり、授業開始は5月7日からとなった。大学も対面授業から遠隔リモート授業に舵をとることで様相は大きく変化した。後期は一部対面授業が復活し、METTS で展開される教職課程科目は、全講座対面授業で展開をした。この一年は、教育活動が児童生徒と直接接することで互いの体温を感じながら互いに成長していく活動であることを実感した時間でもあった。

この項では、コロナ禍中で(1)全く実施できなかった事業、(2)回数を減じたり内容形式を変えながらも実施できた事業、(3)コロナによって新しく手に入れた事項、これら3つに分けて以下に記録を残す。

(1) 全く実施できなかった事業

オーストラリア UNSW Global 校研修、足立区連携事業区民講座。やはりコロナによって海外に出るもしくは大学から出ていく事業に関しては大きな影響を受けた。ただ全く中止になった事業は限定されており、多くは以下のようにその在り方を模索しながら形を縮小しながら実施に至ったものが多い。

(2) 形式を変えながら実施された事業

教職課程センター事業では、教育実習が挙げられる。例年5月下旬から本格的に実施される教育実習は、コロナの対応に揺れいていた状況をそのまま反映して前期実施の教育実習は高等学校における一例を除いて、31名が後期実施に移行された。

また、4年生対象の2021年度向け教員採用試験に関わるプログラムは、模擬試験をはじめとして教員採用特別講習など、その実施形態を模索しながら変更を加えてきた。

自宅受験になった模擬試験をはじめとして各特別

講座は、在宅での学修を可能にするためにインターネットやメールをフルに活用したり、METTS からの自修資料を各自宅へ郵送しそれらを返却してもらういわば通信添削型の指導を展開した。

地域学校教育センター案件では、高等学校との連携事業に関わる「大学生と話そう会」がその回数を2回から1回に減じて実施された。その内容も感染防止対策を徹底し大学での滞在時間を短く設定しながらも内容の濃い交流ができるように工夫した。

例年複数回実施され高い評価を得てきた足立区立中学校や都立高校との留学生交流会は、その時々での感染状況によって実施が取りやめになるなど結果的には9月の区立扇中学校での実施1回になった。

このように変更を求められた多くの事業の中にあつて、ほぼ計画通り実施された「あけみ英語村」や浦安市立小学校でのボランティア活動、都立高校における日本語支援教育など実施に至るまで様々な困難を乗り越えてご支援いただいた教育委員会及び該当校の先生方の熱意に改めて感謝申し上げたい。

(3) 新しい知見として獲得したもの

コロナ禍で教育活動の中には心のケアなどデジタル化できないものがあることが分かったが、その反面授業展開や生徒指導の中でも急激に ICT 化を更に図らねばならない項目が多いことも判明した。その一つは、ソーシャルメディアやツールの活用力向上が今後の教育活動の必須の条件であり教職を目指す者にとって不可欠な能力となることである。そのような変革の中で METTS の事業も大きな変化を迎えることになった。コロナ禍によって実際に学校や会場を訪問する、もしくは本学に来ていただき時間を共有するといった機会は大きく変化を求められた。そして、都立高校日本語教育指導支援、英語科教育法オンライン集中講座、教員養成機関等との連携による小学校外国語の専門人材育成・確保事業(Meikai Joe)、第2・3回足立区連携協議会、都立飛鳥高校

における教員日本語指導研修会、朝日大学との共催事業（授業改革セミナー）、1月のFD研修会、更に今事業となるシンポジウム、これらは全てZoomを活用して展開された事業である。コロナ禍で直接的な触れ合いを重視しながらも、非接触型の教育活動の在り方をMETTSも獲得し始めたと後世に記憶される一年であった。

2 2020年度教職課程履修者数（5/1現在）

	日本語	英米語	中国語	合計（昨年）
1年次	18	36	0	54（58）
2年次	18	17	2	37（35）
3年次	16	11	3	30（31）
4年次	10	20	0	30（20）
科目等履修	0	0	0	0（0）
	合計			151（144）

3 2020年度公立学校教員採用試験合格者

教員採用試験受験者延28名（卒業生を含む）、1次試験合格者18名、2次合格者11名。昨年に続いて二桁の2次合格者、そして今年度は現役8名の合格を出すことができたことは特筆すべきことである。

千葉県 中高英語1（卒業生1）
小学校全3（英米語学科2、卒業生1）
東京都 中高英語5（英米語学科5）
中高国語1（日本語学科1）
埼玉県 中高英語1（卒業生1）

4 教職課程センター

4月 1年生教職ガイダンス
第3回教員採用模擬試験
教職講座（教育法規等）開始
5月 玉川大学連携小学校教員養成特別プログラム始動
6月 教員採用試験直前講座及び面接講座開始
Tokyo Global Gateway(TGG)訪問（英米3年）
7月 教員採用試験受験者激励会
教員採用試験受験（現卒28人受験）
8月 各都県教員採用2次対策面接講座
教員採用2次実技試験講座（英語）
9月 英語科教育法オンライン集中講座（英米3年）
10月 教員採用試験2次発表（現卒11名合格）
学部各学科教職科目履修ガイダンス
千葉県教育委員会教員採用選考説明会

11月 3年対象教員採用スタート模擬試験
在学生対象教員採用試験合格者報告会
東京都立広尾高校訪問研修（日本語学科3）
千葉市立幕張西中学校訪問（英米語学科3）
東京都教育委員会教員採用選考説明会
2020年ちば！教職たまごプロジェクト募集
12月 2年教職ガイダンス（教育実習校開拓）
1月 玉川大学連携小学校教員免許取得説明会
FD研修会：「教育の情報化の現状とこれから」
講師：高橋 純先生（東京学芸大学）
教育ボランティア活動報告会
3月 教職勉強合宿（3年）（予）
新年度各学年教職ガイダンス
5 地域学校教育センター
4・5月 コロナ禍の中で実質的活動なし
6月 浦安市教育委員会第1回連携協議会
都立飛鳥・南葛飾、高校日本語教育支援開始
浦安市学習支援事業（ドラフトゼミ）開始
足立区中学校英語・学校経営支援開始
足立区連携事業第1回連携協議会
7月 連携高等学校6校第1回連携協議会
浦安市教育委員会教育未来塾開始
9月 都立葛西南高校、校内寺小屋開始
連携高等学校交流会「大学生と話そう会」
10月 足立区立扇中学校留学生交流会
文部科学省委託小学校外国語の専門人材育成確保事業（Meikai Joe）開始
明海大学あけみ英語村2020（区立湊江小）
11月 連携高等学校6校第2回連絡協議会
足立区英語マスター講座修了者英語成果発表会
明海大学あけみ英語村2020（区立大谷田小）
12月 足立区連携事業第2回連携協議会
日本語指導校内研修会（飛鳥・田柄高校）
明海大学・朝日大学共催「2020 英語授業改革セミナー」開催（Web開催）
足立区日本語指導研修会（小学校教員対象）
1月 足立区連携事業第3回連絡協議会
2月 2020 明海大学「大学と地域連携の未来」シンポジウム
3月 連携高等学校6校第3回連携協議会（予）
浦安市教育委員会第2回連携協議会（予）

3. 活動報告

(5) ニュースレター 第1号～第8号 (表面)

2020年第1号 (2020.4)

2020年4月20日 (第1号)

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 2020年度 教諭・講師等採用実績

厳しい採用試験を突破し、2020年4月から教職に従事する卒業生は正規教員16人、講師7人となりました。新型コロナウイルス感染症対策が教育現場に大きな影響を与える困難の中でスタートとはなりましたが、先方の方の今後の活躍をお祈りします。

- 正規教員 (公立)**
- 嶋田 純也 さん (英米語卒) 東京都立八王子北高等学校 (英語)
 - 池田 義友 さん (英米語卒) 足立区立第五中学校 (英語)
 - 佐藤なみゆき さん (英米語卒) 習志野市立第五中学校 (英語)
 - 高野 智子 さん (英米語卒) 船橋市立行田中学校 (英語)
 - 中村 亮太 さん (英米語卒) 市川市立下貝塚中学校 (英語)
 - 内山 葉月 さん (英米語卒) 大網白里市立大網中学校 (英語)
 - 内山 葉月 さん (英米語卒) 調布市立神代中学校 (英語)
 - 富塚 虎太 さん (英米語卒) 松戸市立第二中学校 (英語)
- 正規教員 (私立)**
- 松沢 圭帆 さん (日本語卒) 共栄学園中等高等学校 (国語)
 - 山後 航平 さん (日本語卒) 松商学園高等学校 (国語)
 - 亀井 照太 さん (日本語卒) 帝京長岡高等学校 (国語)
 - 松本 尚之 さん (英米語卒) 八千代松陵中学校・高等学校 (英語)
 - 西尾 翔太 さん (英米語卒) 学校法人川内川ワゴン学校 (英語)
 - その他 東京都中高共通 (数学) 1人
東京都小学校 (全科) 1人
千葉県小学校 (全科) 1人



- 講師**
- 遠藤 真貴 さん (日本語卒) 正明学園高等学校 (国語)
 - 山下 菜穂 さん (英米語卒) 木更津総合高校 (英語)
 - 林 炫俊 さん (英米語卒) 小松原学園浦和御明高等学校 (英語)
 - 吉屋 李華 さん (英米語卒) 浦安市立浦安南小学校 (英語専科)
 - 大野 清輝 さん (英米語卒) 埼玉県立児玉高等学校 (英語)
 - 脇山 清美 さん (英米語卒) 埼玉県上里市教育委員会派遣 (英語)
 - その他 1人

この逆境をアドバンテージに！教員採用試験対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、対面での教員採用試験対策講座や願書指導が不可能となりました。METTS では、採用試験受験者が在宅でどのように学習して準備を進めるべきかをまとめた教材を準備し、4月6日に郵送しました。METTS 教員が一丸となり学生の不安を解消し、在宅を余儀なくされる間の時間を有効活用できるようにサポートする計画です。教材を送るだけでなく、進捗状況に応じて電話やメールでの相談受付、答案の添削と返送及び質問受付を行う予定です。同時に間に合った教育実習対策として授業観察方法指導や学習指導案作成指導も含まれています。Stay at home & Go for it!



2020年第3号 (2020.6)

2020年6月18日 (第3号)

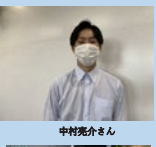
METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 教員採用試験準備本格化・対面での指導始まる

今年度は20人の4年生が各地の教員採用試験を受験予定です。そのうち19人が受験する東京都、千葉県及び新潟県の教員採用一次試験が7月12日に実施されたため、METTS では面接指導・個別指導をスタートしました。

密集を避けるため受験地ごとの小グループで集めた4年生は、まずモデルDVDを視聴してから、面接時の注意事項、受験地ごとの質問の特徴などについて指導を受けた後、面接練習に臨みます。練習を終えた英米語学科4年生の中村亮介さんは次のように感想を話してくれました。「面接では緊張が顔が真っ白になることもあるかもしれないので練習の機会がありよかったです。面接官の質問の主旨が記憶に鮮明なうちにまず結論を述べるように努力しました。理由を長く話しているうちに聞かれているポイントを見失うことがあったからです。先方からこの点を評価していたら嬉しかったです！併せてMETTSでは4月、5月の2か月間に在宅学習用に送付した教職教養科目及び専門教養科目についての個別指導を行っています。登校禁止期間にもテレビ電話等を利用して個別の指導を行ってきましたが、対面できなければ解決できない疑問点を抱えた受験生がMETTSを訪れ、教員からヒントを得ています。指導開始にあたり感染対策としてマスク着用、手指の消毒はもちろんのこと、入室時の検温、使用後の机の消毒等を行っています。教職員にとっても学生にとっても、まだまだ慣れない新しい生活習慣ではありますが、今後教員を目指す4年生にとってはコロナと共に生きる学校現場の実践練習の場といえます。



中国語学科卒業生 谷成基香さん 柏市立柏高等学校に採用される！

教職課程は、学生が主体となって進める授業が多く、一方的に教えてもらうだけの授業より理解が深まるものばかりでした。もちろん授業の準備など大変なこともありますが、当時頑張った分だけの自分のためになったと実感しています。教育実習は、多くの先生の授業を見学し、教材研究を重ねることでより良い授業に繋がることが出来ます。初めてのことで失敗して落ち込むこともありますが、失敗から少しでも多くのことを学ぼうとすることが大切です。また先生としての生徒との関わり方などを学ぶチャンスでもあります。皆さんには何事にも積極的に取り組んでほしいと思います。授業が他の学生より多くて役に立つこともあると思いますが、今日自分が置かれている恵まれた環境を最大限活用し未来の自分のためにたくさん学んでください。(柏市立柏高等学校 中国語臨時任用講師 谷成基香先生)



2020年第2号 (2020.5)

2020年5月25日 (第2号)

METTS NEWSLETTER

特集 新型コロナウイルス禍の中で！

明海大学教職課程センター長 副学長・外国語部長 高野 敬三
COVID-19の感染拡大が収束しない中で明海大学は4月から臨時休校となりました。このことは、学生の皆さんにとってもそうですが、大学の教職員にとっても日本の教育史上これまで経験したことのない事態でもあります。こうした中であっても教職課程センター (METTS) の教員は、これまで同様皆さんに寄り添い支えたいと考えていますので、保護者の皆さま方、学生の皆さんは、安心して下さい。以下にメッセージをまとめたので、私のメッセージの他、裏面にMETTSの教員がメッセージをまとめてありますので、それぞれ読んでみて下さい。

新たに教職課程を履修しようとする学生の皆さん
METTSでは、4年間かけて教員が皆さんを大切に指導して、教員免許の取得や教員採用試験合格までのサポートをします。センター開設から4年が過ぎましたが、今年4月中旬・高校の国語と英語の正規教員となった方は12人に上ります。ぜひMETTSの仲間となり、皆で教員となる夢を実現しましょう。

教職課程履修の1年生から3年生の皆さん
3月25日から教職課程の科目の履修が遠隔授業で始まります。毎回の授業での課題は多いと思いますが、確実に指示どおりの学習をしてください。大学での対面授業という方法ではありませんが、各科目1回の授業につき事前・事後には、それぞれ2時間ずつ当該科目の学習をしてください。METTSの教員から個々に電話等で悩みや学習の相談に応じていきます。

教職課程履修の4年生の皆さん
来るべき教員採用試験や教育実習について不安でいっぱいかと思いますが、これまで4月と5月にMETTSからメールやレターバック、Googleクラスルーム等で試験や実習対策の課題をたくさん出してきました。METTSの教員からフィードバックされる権能観察等を基に持ち強く学習すれば、必ず夢は叶います。皆さんの居場所であるMETTS コモンズでの協働学習による切磋琢磨は不可能となり、孤独な勉強を強いられることにMETTS教員は心を痛めています。これからLINEで電話相談等とおして、皆さんの心のサポートもしていきます。

新型コロナウイルス禍の中で学生や卒業生も頑張っています。

1日が目まぐるしく過ぎていく教育の現場で楽しさとやりがいを感じながら過ごしています。楽しいと感じることができるのも教職課程でしっかり基礎を学べたからだと思えます。
習志野市立第五中学校教諭 佐藤 みゆき

この「いつも通り」では行えない現状にあるため、教育実習があるかどうかはまだ明確ではありません。でも自粛期間に時間を有意義なものにするために教育実習に向けて自分の苦手分野の克服をするべく勉強に取り組んでいます。
日本語学科4年 栢 直葉

アゴ活用状況(人)	
4月	18
2020年度からの総べり	26,960

例年とは異なる環境で本来学校で受けるはずの授業が受けられず、自主学習という形であるため大変不安ではありますが、皆同じ状況である思い絶対に教員になりたいという気持ちで日々勉学に取り組んでおります。
英米語学科4年 平原 義



2020年第4号 (2020.7)

2020年7月27日(第4号)

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 都立高校における日本語指導支援

都立高校における日本語指導支援が開始されました！！

地域学校教育センター長 高野敬三
COVID-19の感染拡大を受けて都立高校では臨時休業が行われていたが、都立飛鳥高校定時制課程では6月25日から、都立南葛南高校では6月26日から本校の院生及び日本語学科の学生による日本語を母語としない都立高校生に対する日本語指導支援が開始されました。

都立飛鳥高校全日制課程の初回の日本語指導支援となる6月29日には、外国籍の飛鳥高校生9人 (国籍は中国、スリランカなど) に対して、本学日本語学科の木山三佳教授の下、本学大学院生の升谷理紅さん、日本語学科4年の齋藤菜々花さんが講師となり、最初はレベル分けテスト、ディクトグラム (聞き取り)、ジグソーパズリング (文脈整理) やクローズド法テスト (穴埋め) 問題などを繰り返しました。

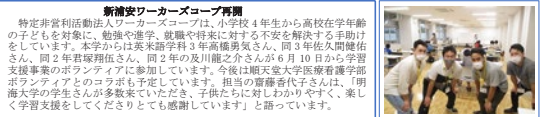
6月30日の都立南葛南高校全日制課程では、日本語学科4年生の藤谷響さんと沈伽迦さんの2人が担当し、生徒6人ずつ (国籍は中国、フィリピン、ネパールなど) の2教室に分け、自分の国の料理の作り方を教えるロールプレイなど実践的な指導が行われていました。

7月1日の都立飛鳥高校定時制課程では、大学院生の林苗さん、4年生の齋藤菜々花さん、風間みなみさんの3人が担当し、生徒16人 (国籍は中国、ネパール、バングラディッシュなど) に対しレベル分けテストを行った後、3グループに分け、家族を表す詞、好きな食べ物、自己紹介をするときの丁寧な言い方などを指導しました。高校生たちは、それぞれの指導に手ごたえを感じていました。

この日本語指導支援は、とてもやりがいがあります。生徒が文法や用法を覚えてくれて、それを使えるようになることで私は嬉しさで一杯になります。作成した教材の良い点や改善点を見つけてくれることもできます。先日、ある高校の生徒にテストより先生の授業が良いと言ってもらえた時は、これらもつと内容の濃い授業をやらう！頑張ろう！とより一層やる気ができました。今後もし生徒にも自分にもプラスになる支援を続けていこうと思います。
日本語学科4年 齋藤菜々花

外国にルーツをもつ高校生が日本の公立学校に入るのが難しい。日本語がわからないことから授業を理解できず、学校になじめず孤立して不登校になり、申し送らざるを得ないという記事を目にしました。せめて私が大学で学んだ日本語教育が高校生の役に立つのであればと思い日本語指導支援に参加しました。生徒たちは放課後に集まって授業をしますが、真剣に授業に取り組む姿も目撃しました。授業後の「先生、ありがとうございます」とか「思ってたより授業が面白かった」とか「先生の話を聞いて、参加してよかった」とか聞かれます。
日本語学科4年 藤谷響

新浦安ワーカースクール再開
特定非営利活動法人ワーカースクールは、小学校4年生から高校在学年齢の子を対象に、勉強や進学、就職や将来に対する不安を解消する手助けをしています。本校からは英米語学科3年の藤谷響さん、同4年の松崎唯佳さん、同2年の藤谷理紅さん、同2年の及川龍之介さんが6月10日から学習支援ボランティアに参加しています。今後は順天堂大学医療看護学部がボランティアのサポートも予定しています。担当の藤谷理紅先生は、「明海大学の学生さんが多数来ていただき、子供たちに寄り添って、楽しく学習支援をしてくださるとも感謝しています」と語っています。



2020年9月28日 (第5号)

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 教員採用試験・一次試験通過者 18人の快挙

今夏、新しい教職課程の下、1年生から教職を学んできた外国語学部日本語学科及び英米語学科の4年生20人と英米語学科卒業生8人が、教員採用試験を受験し18人が一次試験を突破しました。都県別の一次試験通過者数は下表のとおりです。

各地区の二次試験では、全員に日本語での個人面接、集団面接が行われました。さらに英語受験者には模擬授業(千葉県)、リスニングテスト(東京都)、英語面接試験(東京都、千葉県、埼玉県)が課せられる実技試験がありました。一次試験結果発表以来、二次試験前日までMLACCのバトリフィア・ハヤシ教授、タイソン・ロード准教授のサポートを受けながら、受験者は連日練習を行い二次試験に臨むことができました。各都県10月には最終結果が発表されることになっています。人事を尽くして天命を待つのみです。

受験地	校種・科目	受験者数(人)	現役通過者数(人)	既卒者通過者数(人)	通過者合計(人)
東京都	中高国語	2	1	0	1
	中高英語	9	6	0	6
千葉県	中高国語	1	0	0	0
	中高英語	8	4	3	7
埼玉県	小学校全科	2	1	1	2
	中学英語	2	0	0	0
新潟県	高校英語	1	0	1	1
	中学国語	1	0	0	0
岩手県	中学英語	1	0	0	0
	中学英語	1	1	0	1
合計		28	13	5	18

千葉県英語面接練習中の山崎紗緒里さん



MLACC タイソン・ロード准教授の指導を受ける中村隼さん




文部科学省「小学校外国語の専門人材育成・確保事業」受託

明海大学は文部科学省の公募事業「令和2年度教員養成機関等との連携による小学校外国語の専門人材育成・確保事業」に応募し、7月15日に提案書が採択され、8月3日には文科省との正式契約を結ぶことができました。小学校教員養成課程を持たない明海大学が多数の応募の中から採択されたことは、大きな喜びです。

具体的な内容は、連携協定を結んでいる浦安市、足立区、横手市の3地区の小学校の先生方が外国語教育に関して共通して抱えている課題を講座内容として扱い、その課題解決方法をオンライン講義とワークショップを通じて提示します。また、事後にはその成果を明海大学のホームページに掲載し、小学校英語教育のためのリソースとして広く活用できるようにします。提携先の小学校の先生方200人への配信日は10月20日(火)、11月18日(水)、11月25日(水)、12月16日(水)、12月24日(木)の5回です。

9月15日には第1回検討委員会オンライン会議が開催され、安井判一学長をはじめ明海大学関係者に加えて外部協力機関であるJ-SHINEから上智大学藤田保教授、玉川大学佐藤久美子名譽教授、連携区市教育委員会、再委託先である技術担当の(株)モアカラーが参加して今後の計画等についても協議されました。

METTSでは今回の事業受託を契機に小学校英語教育についても研究を進め、中高英語教員をめざす学生の指導に役立てていきます。



挨拶する安井判一学長

2020年11月20日 (第7号)

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集：2021年度教員採用試験最終結果報告

千葉県・東京都 教員採用試験合格者からのメッセージ

東京都 中高国語 原部 美優さん

ずっと憧れていた教員として春から働けることをとても嬉しく思います。METTSの先生方が自由期間や夏休みにも手厚くご指導してくださったおかげです。本当にありがとうございました。そして同じ目標に向かって頑張っていた仲間が多かったことも恵まれていたと感じました。常に感謝の気持ちを持って精進していきます。

中高英語 金子 駿太さん

合格発表を手にしてはっとしたと同時にもっと勉強しなければならないとあらためて感じています。教育実習中に結果発表があったので、他の実習生と合格を一緒に味わえたことは一生忘れられない思い出になりました。教壇に立つにあたりやらなければならないことが山積みです。卒業まで先生方の手をお借りして勉強に励みたいですね。

中高英語 白井 萌さん

東京都の教員採用試験に合格したことはいまだに夢のようです。採用試験に向けて日々勉強する中でとても厳しく不安に思うこともありましたが、この結果を得て今までの努力が実ったと感じました。卒業まで勉強を怠らぬようにいたします。

中高英語 寺内 朋之さん

一次も二次もうまくやらないという経験はなかったのですが、結果を確認するときは不安でいっぱいでしたが、合格の文字を見て本当に安心しました。まだまだこれからやらなければならないことはたくさんありますが、ひとまず今は合格を喜びと共に、最後まで頑張れるよう支えてくれた方々に強く感謝しています。

中高英語 中村 隼さん

4月のプレ模試で全ての判定がDで埋まった時は、本当に諦めて来年やるしかないかと思いました。しかし、多くの友人やMETTSの先生方から支えられそうになりながらも合格することができました。自分も先生方のように人を支えられる人間になれるよう努力していきたいと思っています。

東京都 中高英語 富本 隼一さん

教員採用試験は一人ではどうにもなりません。METTSの先生方には実力が足りなかった自分を1年次からサポートして頂き、感謝してもしきれません。この合格は論文指導から面接、英語実技と一人では対策の難しい分野の丁寧なご指導のおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れずに成長しているよう努力していきます。

千葉県 小学校全科 神谷 美麗さん

今まで何度も挫折そうになりましたが、多くの先生方、友人に支えられ、目標であった千葉県教員採用試験に合格することができました。今後は小学校教員免許取得や大学卒業のため、やるべきことがたくさんありますが、大学卒業後に自信を持って教壇に立てるよう、やっておきたいことも多く出てきます。今まで以上に高い意欲を持ち、精一杯頑張ります。

小学校全科 平原 直さん

たくさんの方々に支えられ努力が実を結び、千葉県教員採用試験に合格できたこと、大変嬉しく思います。一緒に教員を目指す仲間たち、指導して下さる先生方、応援して下さる家族がいたからこそ、最後まで諦めずに頑張ることができました。教員として良いスタートが切れるよう、気を緩めず、今やるべきことをしっかりと頑張ります。

今月号では現役合格者を特集します。卒業生の喜びの声は12月号に掲載します。

東京都・千葉県・埼玉県合格者数一覧

都県	中高国語		中高英語		小学校全科		計
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	
東京	1人	0人	5人	0人	0人	0人	6人
千葉	0人	0人	1人	2人	1人	0人	4人
埼玉	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人
合計							11人

2020年10月26日 (第6号)

METTS NEWSLETTER

特集 教員採用試験結果速報！

採用試験合格おめでとうございます！

千葉県 4人 埼玉県 1人 東京都 6人

神谷美麗さん(小学校全科 英米語4年) 大野浩輝さん(高英語 英米語4年) 金子駿太さん(中高英語 英米語4年)
 平原直さん(小学校全科 英米語4年) 白井萌さん(中高英語 英米語4年) 寺内朋之さん(中高英語 英米語4年)
 鈴木海渡さん(中高英語 英米語4年) 中村隼さん(中高英語 英米語4年) 富本隼一さん(中高英語 英米語4年)
 山口拓哉さん(小学校全科 英米語4年) 原部美優さん(中高国語 日本語4年)

今年度は総勢11人の合格を出すことができました。来年4月から教壇に立つこととなります。今回合格を手にした皆さん、METTS一円心からお祝い申し上げます。今回不合格だった皆さんは、来年度の合格を目指し、最終合格を手にしてください。METTSは最後まで皆さんの応援をさせていただきます。

2021年度3年生向け教員採用試験ガイダンス


2021年度教員採用試験に向け、そのスタートとして10月1日に教員採用試験ガイダンスを開催しました。高野教職課程センター長から教員採用試験に向けての基本的な心構えが熱く語られました。石崎教授からは、各都県の教員採用試験のあらましについての説明がありました。最後に坂本教授から教員採用試験模擬試験の説明がありました。今から来年の各都県の採用試験本番までのスケジュールが示されるとともに、これから自分たちが、限られた時間の中で何をすべきか等の具体的な話が聞けたと思います。各都県の採用試験まであと数か月しかないことを痛感したと思います。受験勉強は団体戦です。学生とMETTS職員が一つとなり、「合格」という共通の目標に向けて、METTS職員は最後の最後まで責任をもって全面的にサポートをして参ります。共に頑張らしましょう。

2021年度向けMETTSスケジュール(抜粋)

10月1日	教員採用試験ガイダンス
10月22日	千葉県教員採用試験説明会
10月29日	あけみ英語村(足立区立清江小)
11月1日	英語マスター講座修了者成果発表会
11月5日	スタート模試
11月12日	東京都教員採用試験説明会
11月13日	広尾高校訪問授業参観
11月24日	あけみ英語村(足立区立大谷田小)
11月未定	学校訪問授業参観
12月20日	英語授業改革セミナー
12月未定	学校訪問授業参観
12月未定	教職ガイダンス(介護等の体験等)
12月未定	教員免許状一括申請ガイダンス
1月27日	第1回教員採用全国模試
2月6日	2021明海大学シンポジウム ～大学と地域連携の未来～
2月16日～19日	教員採用試験対策特別講習
3月3日～5日	3年生対象教職勉強会
3月11日	第2回教員採用全国模試
3月15日	学位記授与式(卒業式) 教員免許状授与式

アゴラ活用状況(人)

9月	432
2019年度から前年度	29,268



2020年12月21日 (第8号)

METTS NEWSLETTER

特集 教員採用試験卒業生の喜びの声！

METTS NEWSLETTER11月号で、2021年度教員採用試験最終結果報告として、8人の現役生の喜びの声を紹介いたしました。本号では、3人の卒業生の喜びの声を紹介したいと思います。合格した卒業生の皆さん、今までの努力をたたえとともに、4月から教育現場に夢をはせながら足元を固める意味でも3月末まで教材研究等の準備をしっかりと行い希望いたします。

大学を卒業してから大学に通算2年通い、教員免許を取得しました。教員としての実績がなかったため講師からのスタートになりましたが、講師だからこそ学べる機会が多かったです。教員になってから大切なことは謙遜な姿勢で学び続けることです。これから採用試験を受験する皆さんも合格、不合格に関わらず、謙遜な姿勢で頑張ってください。

現場で勤務しながら勉強時間を確保することは難しく、大変な時期もありました。先生方には面接対策など、大変お世話になりました。皆様を支えていただいたおかげで合格を勝ち取ることができました。ありがとうございます。新たなスタートに向けてこれからも頑張っていきます。

在学時代、学生ボランティアとしていくつもの小・高校に行く機会をMETTSの先生方からいただきました。学生時代から教育現場で子どもたちの様子や現役の先生方の指導をみさせていただくことで、講義で学んだことをより理解することができました。また、知識を自分の経験談にすることができ、採用試験の面接や模擬授業でも自信を持って臨むことができました。

教員採用試験合格体験報告会

11月26日(木)、2021年度教員採用試験(東京都、千葉県、埼玉県)に合格した7人の4年生(寺内さん、中村さん、神谷さん、服部さん、白井さん、金子さん、平原さん)が、教職課程履修の2、3年生13人に向け、合格するまでの苦労した話や最終合格を手にした時の喜びなどを熱く語ってくれました。先駆者の体験報告を聞いた英米語学科の学生は、「早くはじめるべきだと改めて感じました。教職を生涯の職業として選びたいときに強く思うようになりました。そのためには今まで以上に勉強しなくてはならないという実感がわいてきました。またMETTSで色々な講座が開かれるのを知り、積極的に参加したい」との感想を述べてくれました。

※写真撮影のためマスクを外しています。

2021 明海大学「大学と地域連携の未来」シンポジウム(予告)

日時 2021年2月6日(土)11:30から16:30
 基調講演 講師 佐藤明彦氏(教育ジャーナリスト(株)コンテクト代表)
 演題 「コロナ禍で変わる学校教育のカタチ」
 ～熊本市「奇跡のオンライン授業」を振り返って～
 ※オンラインによる開催の可能性ががあります。>

アゴラ活用状況(人)

11月	1,180
2019年度から前年度	31,208

4. 2020年度 METTS 事業参加学生一覧

日本語指導支援（飛鳥高等学校）

< 全日制課程 >

応用言語学研究科博士前期課程 2年 升谷 理紅
日本語学科 4年 風間 みなみ
日本語学科 4年 齋藤 菜々花
日本語学科 3年 永沼 彩乃

< 定時制課程 >

応用言語学研究科博士後期課程 2年 林 苗
応用言語学研究科博士前期課程 2年 荷見 美有
日本語学科 4年 風間 みなみ
日本語学科 4年 齋藤 菜々花
日本語学科 4年 沈 伽迪
日本語学科 4年 藤谷 響
日本語学科 4年 楊 凱
日本語学科 3年 永沼 彩乃

日本語指導支援（南葛飾高等学校）

応用言語学研究科博士後期課程 3年 範 弘宇
応用言語学研究科博士後期課程 1年 楊 熙東
応用言語学研究科博士前期課程 2年 富田 遼太郎
応用言語学研究科博士前期課程 2年 荷見 美有
応用言語学研究科博士前期課程 1年 枝常 姫香
日本語学科 4年 風間 みなみ
日本語学科 4年 齋藤 菜々花
日本語学科 4年 沈 伽迪
日本語学科 4年 藤谷 響
日本語学科 4年 南 真里奈
日本語学科 3年 工藤 楓
日本語学科 3年 高橋 美優
日本語学科 3年 永沼 彩乃

大学生と話そう会

英米語学科 4年 白井 萌
英米語学科 4年 内藤 卓
日本語学科 3年 忍足 裕貴
日本語学科 3年 片平 温基
日本語学科 3年 河合 佳也
日本語学科 3年 中村 圭吾
英米語学科 2年 及川 龍之介
英米語学科 2年 鈴木 歩

中国語学科 2年 塩谷 こゆき
経済学科 3年 伊藤 正紀
経済学科 3年 中里 圭
経済学科 3年 藤井 侑輝
口腔保健学科 2年 小山 紗季
口腔保健学科 2年 加藤 菜
不動産学科 4年 藤澤 美月
不動産学科 3年 川崎 優太
不動産学科 3年 前崎 友佑
HT 学科 4年 池谷 優志
HT 学科 3年 竹部 瑛彦
HT 学科 3年 中山 航大

大学生と話そう会（留学生）

日本語学科 3年 テン ミヨウ
日本語学科 1年 サイ ゲッコウ
日本語学科 1年 リョウ ユ
経済学科 4年 チャン テウアン アン
経済学科 4年 ハー テー アイン
経済学科 1年 ザン キンテイ
経済学科 1年 シュウ タクコマ
経済学科 1年 ジュ ビンケツ
経済学科 1年 ヨウ エイ
不動産学科 4年 シュ レイロウ
不動産学科 1年 チョウ カクウ
HT 学科 2年 バンダリ マノズ
HT 学科 2年 A. M. タラニ クマリ アタパット

明海大学あけみ英語村 2020（留学生）

日本語学科 3年 ザンブラノ ラウラ
経済学科 4年 李 杰
経済学科 3年 ダオ ティ トゥイ ガン
経済学科 3年 マイ ニャット ヴ
経済学科 1年 葉 穎
経済学科 1年 孫 平磊
経済学科 1年 孫 明輝
経済学科 1年 陳 涛
HT 学科 2年 A M タラニ クマリ アタパット
HT 学科 1年 グエン ティ フォン タオ

明海大学あけみ英語村 2020 (教職履修生)

英米語学科 4年 岩崎 力丸
英米語学科 4年 金子 駿太
英米語学科 4年 神谷 美麗
英米語学科 4年 小出 駿平
英米語学科 4年 佐藤 純眞
英米語学科 4年 信太 明日華
英米語学科 4年 白井 萌
英米語学科 4年 鶴巻 紗希
英米語学科 4年 時田 亘
英米語学科 4年 内藤 卓
英米語学科 4年 中村 陸
英米語学科 4年 中村 亮介
英米語学科 4年 錦織 由佳
英米語学科 4年 平原 豪
英米語学科 4年 本間 大地
英米語学科 4年 宮本 隆一
英米語学科 4年 山崎 紗緒里
英米語学科 4年 山崎 隼弥
英米語学科 4年 寺内 朋之
英米語学科 4年 藤田 祐也
英米語学科 3年 五十嵐 彩音
英米語学科 3年 鵜沢 美里
英米語学科 3年 江川 有紗
英米語学科 3年 奥野 日菜
英米語学科 3年 佐久間 健祐
英米語学科 3年 嶋田 宗晋
英米語学科 3年 高橋 勇氣
英米語学科 3年 庭山 航瑠
英米語学科 3年 藤原 智輝
英米語学科 3年 矢吹 駿介
英米語学科 2年 池上 温哉
英米語学科 2年 及川 龍之介
英米語学科 2年 加藤 天真
英米語学科 2年 君塚 翔伍
英米語学科 2年 小林 悠太
英米語学科 2年 佐藤 向日葵
英米語学科 2年 佐保 翼
英米語学科 2年 椎葉 晴斗
英米語学科 2年 鈴木 歩
英米語学科 2年 関野 玲佳
英米語学科 2年 高橋 陽人
英米語学科 2年 高橋 凜

英米語学科 2年 横田 裕哉
英米語学科 2年 米元 拓光
HT 学科 2年 小笠原 紀実
英米語学科 1年 磯野 奨
英米語学科 1年 内山 瑞貴
英米語学科 1年 川元 麻衣
英米語学科 1年 向後 志穂
英米語学科 1年 児島 晴香
英米語学科 1年 小林 優汰
英米語学科 1年 佐久間 陸人
英米語学科 1年 櫻井 栞
英米語学科 1年 佐藤 有志
英米語学科 1年 鎮目 笑多
英米語学科 1年 中川 綺乃
英米語学科 1年 長門 明希
英米語学科 1年 福岡 拓馬
英米語学科 1年 福川 陽南
英米語学科 1年 保足 晟吾
英米語学科 1年 宮崎 鈴菜
英米語学科 1年 村上 光紀
英米語学科 1年 八代 涼花
英米語学科 1年 山西 啓太
英米語学科 1年 吉澤 大空
英米語学科 1年 吉住 百恵
英米語学科 1年 吉田 未来

足立区中学校異文化交流事業 (扇中学校)

英米語学科 2年 バト エレデネ バトチュルン
英米語学科 2年 R.P.P. マドゥランガ クマール
経済学科 4年 李 文静
経済学科 2年 史 楷鋒
経済学科 2年 李 俊輝
経済学科 1年 蔣 瞳
経済学科 1年 チャウ ティ ミン トゥ
経済学科 1年 張 勝飛
経済学科 1年 葉 穎
経済学科 1年 刘 子嘉
不動産学科 1年 趙 赫雨

英語マスター講座成果発表会

英米語学科 4年 金子 駿太
英米語学科 4年 佐藤 純眞
英米語学科 4年 信太 明日華

英米語学科 4年 白井 萌
英米語学科 4年 内藤 卓
英米語学科 4年 中村 亮介
英米語学科 4年 錦織 由佳
英米語学科 4年 宮本 隆一
英米語学科 4年 山崎 紗緒里
英米語学科 4年 藤田 祐也
英米語学科 2年 池上 温哉
英米語学科 2年 及川 龍之介
英米語学科 2年 加藤 天真
英米語学科 2年 小林 悠太
英米語学科 2年 佐藤 向日葵
英米語学科 2年 椎葉 晴斗
英米語学科 2年 高橋 凜
英米語学科 2年 横田 裕哉
英米語学科 2年 米元 拓光

校内寺子屋講師 (葛西南高校)

英米語学科 4年 鶴巻 紗希
英米語学科 4年 寺内 朋之
英米語学科 4年 内藤 卓
英米語学科 4年 宮本 隆一
英米語学科 4年 藤田 祐也
英米語学科 3年 高橋 勇氣
英米語学科 2年 及川 龍之介
英米語学科 2年 君塚 翔伍
英米語学科 2年 椎葉 晴斗
英米語学科 2年 鈴木 歩
英米語学科 2年 高橋 凜

浦安市小学校英語支援

英米語学科 4年 信太 明日華
英米語学科 4年 鶴巻 紗希
英米語学科 4年 内藤 卓
英米語学科 4年 中村 陸
英米語学科 4年 山崎 紗緒里
英米語学科 4年 山崎 隼弥
英米語学科 3年 鷓沢 美里
英米語学科 3年 嶋田 宗晋
英米語学科 3年 高橋 勇氣
英米語学科 2年 及川 龍之介
英米語学科 2年 佐保 翼
英米語学科 2年 鈴木 歩

英米語学科 2年 横田 裕哉

浦安市未来塾

英米語学科 2年 佐藤 向日葵
英米語学科 2年 佐保 翼
英米語学科 2年 鈴木 歩
経済学部 3年 伊藤 正紀
経済学部 3年 中里 圭
経済学部 3年 藤井 侑輝

浦安市学習支援「ドラフトゼミ」

英米語学科 3年 高橋 勇氣
英米語学科 3年 佐久間 健祐
英米語学科 2年 及川 龍之介
英米語学科 2年 君塚 翔伍

明海大学・朝日大学共催 英語授業改革セミナー

英米語学科 4年 内藤 卓
英米語学科 4年 中村 亮介
英米語学科 2年 及川 龍之介



MEIKAI UNIVERSITY